

2024年度

星槎道都大学

授業計画（シラバス）



目 次

6405000	地域共生（学科別）プログラム 学務課 通年	・ ・ ・	1
6209401	キャリア支援演習（M）石山 玄幸 通年	・ ・ ・	3
6209402	キャリア支援演習（S）大島・西野 通年	・ ・ ・	5
6209403	キャリア支援演習（D）北嶋 洋一 通年	・ ・ ・	7
6209404	キャリア支援演習（A）横山 哲也 通年	・ ・ ・	9
6332000	みらい創造プログラム 河野・信濃・石山・篠原 通年	・ ・ ・	11
6224000	インターシップ・キャリアプログラム キャリア支援センター職員 通年	・ ・ ・	13
6225000	インターシップ・キャリアプログラム キャリア支援センター職員 通年	・ ・ ・	15
6226000	インターシップ・キャリアプログラム キャリア支援センター職員 通年	・ ・ ・	17
6227000	インターシップ・キャリアプログラム キャリア支援センター職員 通年	・ ・ ・	19
6335000	海外短期留学プログラム 信濃 吉彦 通年	・ ・ ・	21
6336000	海外研修プログラム 信濃 吉彦 通年	・ ・ ・	23
6337000	グローバル英語プログラム 岡島・信濃 通年	・ ・ ・	25
3401500	上級日本語プログラム 竜野 征一郎 通年	・ ・ ・	27
6342000	幼稚園教員養成プログラム 学務課 通年	・ ・ ・	29
6343000	小学校教員養成プログラム 学務課 通年	・ ・ ・	31
6338000	介護職員初任者研修プログラム 生涯学習課 通年	・ ・ ・	33
6339000	公務員試験対策プログラム キャリア支援センター職員 通年	・ ・ ・	35
6340000	教員採用試験対策プログラム 木村・千葉 通年	・ ・ ・	37
6341000	宅地建物取引士試験対策プログラム 小笠原 健 通年	・ ・ ・	39
7148001	特別支援教育実習(事前指導) 藤根・堀川 通年	・ ・ ・	41
9140001	学校インターシップ(学校体験活動)(3年) 藤根堀川千葉木村塩崎高井天野篠原三上 通年	・ ・ ・	43
9140002	学校インターシップ(学校体験活動)(4年) 藤根堀川千葉木村塩崎高井天野篠原三上 通年	・ ・ ・	45
9130001	教育実習(事前・事後指導)(3年) 藤根堀川千葉木村塩崎高井天野篠原三上 通年	・ ・ ・	47
9130002	教育実習(事前・事後指導)(4年) 藤根堀川千葉木村塩崎高井天野篠原三上 通年	・ ・ ・	49
7141000	保育実習指導 湯浅・吉江 通年	・ ・ ・	51
7283000	スクール・チャリワーク実習指導 上原 正希 通年	・ ・ ・	53
7181000	保育実習指導 吉江 幸子 通年	・ ・ ・	55
7183000	保育実習指導 湯浅 頼佳 通年	・ ・ ・	57

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	地域共生（学科別）P（科目ナンバリング：）		
授業担当者（所属・職名）		研究室等所在	
単位数	1（単位認定責任者：）	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		
オフィスアワー			

概要

履修目標

授業の位置づけ

到達目標

授業全体の内容と概要

授業の方法

アクティブラーニングの実施方法					
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL		
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業		
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）		

履修上の注意事項

修学サポート（合理的配慮）

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	地域共生（学科別）Ⅱ（科目ナンバリング： ）		
授業担当者（所属・職名）		研究室等所在	
単位数	1（単位認定責任者： ）	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	経営学科・キャリア支援委員		研究室等所在	経営学科・キャリア支援委員 研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 経営学科・キャリア支援委員)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

就職活動に必要な常識を身につけ学び、さらには年度の終盤で開始されるであろう就職活動に必要な準備を行う。

授業の位置づけ

全学科のDP 1、DP 2、DP 5に対応する。(2024年度)
 経営学科のDP 1、DP 2に対応する。(2023・2022年度)
 経営学科のDP 1、DP 2に対応する。(2021年度)

到達目標

就職活動を開始するために必要な心構えを身に付け、実践にあたって必要な準備を整えられること。

授業全体の内容と概要

就職活動に関わる代理店や業界から来学する講師により情報提供を受け、さらには就職活動の流れや留意事項を把握するため定内至った先輩たちの体験談などを聴くなど、毎週に内容・テーマを変えて行われる。
 そして、学びを実践する場として学内合同企業説明会を全員参加で行う。

授業の方法

毎回の主題に準じた各界の講師による講話を主とした授業が行われる。概要説明はPowerPointにて作成され、他に配布物としてプリントが用いられることもある。講話終了後に質疑応答が行われ、疑問や要望などの解決に対応する。学生は毎授業毎に振り返りシートを記入提出し、添削を受ける。学内合同企業説明会は、服装や持ち物など、事前指導に沿って準備して臨む。
 不測時における授業や補講等ではオンラインにて実施する場合がある。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
模範授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	○ 双方向授業	○ その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

シラバスを読み授業の進行確認をすること。
 初回のガイダンスにて説明を受ける各回の講師について、事前に下調べをしておくこと。
 講話終了後の質疑応答には積極的に参加すること。
 不測の事態が起きた際にオンライン授業を実施する場合がある。
 遅刻1回は0.5回の欠席扱いとする。但し、交通機関の遅延による遅刻は証明書類を持って担当教員に申し出ること。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
 講義中の録音・録画・撮影は事前相談を経て、個人利用に限り許可する場合がある。
 板書の量および方法等について配慮する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は13回以上

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	80%	0%	0%	20%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能 「毎回の講話内容を把握し、実践で生かす力が身に付いている」	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容を的確に捉えており、自らの就職活動に役立てるために整理された内容になっている。作文量も充実している。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容を的確に捉えており、作文量も充実している。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容をほぼ把握した内容になっている。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の理解について不十分であり、作文量も少ない。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話を理解できておらず、作文量も不足している。
思考力・判断力・表現力 「講師から求められる課題や、実践的・学問的な要求に積極的に応えられている」	提出された課題の内容が充実しており、授業内容を分析し考えられている。積極的に授業参加しようとする意思が感じられる。	提出された課題の内容が充実しており、授業から知識を得ようとする意識を持っている。	提出された課題の内容が適切であり、授業で伝えられる知識の吸収についても問題が無い。	提出された課題の内容が不十分であり、授業への参加意識が低い。	求められる課題の提出がされておらず、授業への参加意識が著しく低い。
主体性・多様性・協働性 「必要とされる情報を積極的に自らに取り込み、就職活動に生かそうとする意思を持っている」	講話の内容を的確に把握し、自らの意見を交えて情報の整理することができている。質疑応答への参加など積極性も高い。	講話の内容を的確に把握し、自らの意見を交えて情報の整理することができている。	講話の内容を的確に把握し、情報を整理することができている。	講話の内容把握が不完全であり、情報の整理も未熟である。	講話の内容把握が理解できていない。

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	経営学科・キャリア支援委員		研究室等所在	経営学科・キャリア支援委員 研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 経営学科・キャリア支援委員)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	講義の概要/スタートアップ・シラバスの説明・オリエンテーション	シラバスを読み、授業の流れを把握する。(45分)	授業から伝えられる情報収集について、その目的を明確にする。(45分)
2	インターンシップの準備と対策 /マイナビ登録・インターンシップに参加する意味・マイナビ2026登録	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
3	インターンシップの準備と対策 /リクナビ登録・インターンシップの準備と対策・リクナビ登録	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
4	合説について/就職活動のスケジュール・合同企業説明会の周り方、質問など・就職活動の主なスケジュール	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
5	GPS-Academicのフィードバック・GPS-Academicを用いた自己PR作成の方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
6	人事担当者講演・企業側から見る履歴書の意味や面接の意味など	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
7	ビジネスマナー・実際のマナーを学んでみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
8	学科毎企業説明会・企業説明会 - 各学科2社ずつ企業を呼び説明会の実施	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
9	SPI/履歴書作成講座・履歴書の作成方法やSPI試験の概要等	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
10	履歴書作成講座・履歴書の作成方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
11	履歴書を書いてみる・学んだ事を参考に実際に記載してみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
12	面接対策講座・面接の種類と概要・面接、グループディスカッションの対策方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
13	SPI模擬受検・言語・非言語問題を解いてみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
14	就職内定報告会・各学科の就職内定者の報告会	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
15	学科毎企業説明会・企業説明会 - 各学科2社ずつ企業を呼び説明会の実施	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
16	まとめ/フィードバック・就職情報サイト利用方法・キャリア支援センターの利用方法・支援方法	全授業内容を振り返っておくこと。(45分)	全授業内容を整理し、その実践について考え、準備する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	大島 康雄・西野 克俊(社会福祉学科・准教授)	研究室等所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 大島 康雄・西野 克俊)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

就職活動に必要な常識を身につけ学び、さらには年度の終盤で開始されるであろう就職活動に必要な準備を行う。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP1、DP2に対応する。(2023・2022年度)

到達目標

就職活動を開始するために必要な心構えを身に付け、実践にあたって必要な準備を整えられること。

授業全体の内容と概要

就職活動に関わる代理店や業界から来学する講師により情報提供を受け、さらには就職活動の流れや留意事項を把握するため定内至った先輩たちの体験談などを聴くなど、毎週に内容・テーマを変えて行われる。
そして、学びを実践する場として学内合同企業説明会を全員参加で行う。

授業の方法

毎回の主題に準じた各界の講師による講話を主とした授業が行われる。概要説明はPowerPointにて作成され、他に配布物としてプリントが用いられることもある。講話終了後に質疑応答が行われ、疑問や要望などの解決に対応する。学生は毎授業毎に振り返りシートを記入提出し、添削を受ける。学内合同企業説明会は、服装や持ち物など、事前指導に沿って準備して臨む。
不測時における授業や補講等ではオンラインにて実施する場合がある。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	○	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

シラバスを読み授業の進行確認をすること。
初回のガイダンスにて説明を受ける各回の講師について、事前に下調べをしておくこと。
講話終了後の質疑応答には積極的に参加すること。
不測の事態が起きた際にオンライン授業を実施する場合がある。
遅刻1回は0.5回の欠席扱いとする。但し、交通機関の遅延による遅刻は証明書類を持って担当教員に申し出ること。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
講義中の録音・録画・撮影は事前相談を経て、個人利用に限り許可する場合がある。
板書の量および方法等について配慮する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は13回以上

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	80%	0%	0%	20%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能 「毎回の講話内容を把握し、実践で生かす力が身に付いている」	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容を的確に捉えており、自らの就職活動に役立てるために整理された内容になっている。作文量も充実している。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容を的確に捉えており、作文量も充実している。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容をほぼ把握した内容になっている。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の理解について不十分であり、作文量も少ない。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話を理解できておらず、作文量も不足している。
思考力・判断力・表現力 「講師から求められる課題や、実践的・学問的な要求に積極的に応えられている」	提出された課題の内容が充実しており、授業内容を分析し考えられている。積極的に授業参加しようとする意思が感じられる。	提出された課題の内容が充実しており、授業から知識を得ようとする意識を持っている。	提出された課題の内容が適切であり、授業で伝えられる知識の吸収についても問題が無い。	提出された課題の内容が不十分であり、授業への参加意識が低い。	求められる課題の提出がされておらず、授業への参加意識が著しく低い。
主体性・多様性・協働性 「必要とされる情報を積極的に自ら取り込み、就職活動に生かそうとする意思を持っている」	講話の内容を的確に把握し、自らの意見を交えて情報の整理することができている。質疑応答への参加など積極性も高い。	講話の内容を的確に把握し、自らの意見を交えて情報の整理することができている。	講話の内容を的確に把握し、情報を整理することができている。	講話の内容把握が不完全であり、情報の整理も未熟である。	講話の内容把握が理解できていない。

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	大島 康雄・西野 克俊(社会福祉学科・准教授)		研究室等所在	1号館2階	
単位数	1 (単位認定責任者: 大島 康雄・西野 克俊)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	講義の概要/スタートアップ ・シラバスの説明 ・オリエンテーション	シラバスを読み、授業の流れを把握する。(45分)	授業から伝えられる情報収集について、その目的を明確にする。(45分)
2	インターンシップの準備と対策 /マイナビ登録 ・インターンシップに参加する意味 ・マイナビ2026登録	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
3	インターンシップの準備と対策 /リクナビ登録 ・インターンシップの準備と対策 ・リクナビ登録	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
4	合説について/就職活動のスケジュール ・合同企業説明会の周り方、質問など ・就職活動の主なスケジュール	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
5	GPS-Academicのフィードバック ・GPS-Academicを用いた自己PR作成の方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
6	人事担当者講演 ・企業側から見る履歴書の意味や面接の意味など	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
7	ビジネスマナー ・実際のマナーを学んでみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
8	学科毎企業説明会 ・企業説明会 - 各学科2社ずつ企業を呼び説明会の実施	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
9	SPI/履歴書作成講座 ・履歴書の作成方法やSPI試験の概要等	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
10	履歴書作成講座 ・履歴書の作成方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
11	履歴書を書いてみる ・学んだ事を参考に実際に記載してみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
12	面接対策講座 ・面接の種類と概要 ・面接、グループディスカッションの対策方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
13	SPI模擬受検 ・言語・非言語問題を解いてみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
14	就職内定報告会 ・各学科の就職内定者の報告会	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
15	学科毎企業説明会 ・企業説明会 - 各学科2社ずつ企業を呼び説明会の実施	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
16	まとめ/フィードバック ・就職情報サイト利用方法 ・キャリア支援センターの利用方法・支援方法	全授業内容を振り返っておくこと。(45分)	全授業内容を整理し、その実践について考え、準備する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	北嶋 洋一(デザイン学科・教授)	研究室等所在	2号館5階		
単位数	1 (単位認定責任者: 北嶋 洋一)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

就職活動に必要な常識を身につけ学び、さらには年度の終盤で開始されるであろう就職活動に必要な準備を行う。

授業の位置づけ

全学科のDP1、DP2、DP5に対応する。(2024年度)
 デザイン学科のDP1、DP2に対応する。(2023・2022年度)
 デザイン学科のDP1、DP2に対応する。(2021年度)

到達目標

就職活動を開始するために必要な心構えを身に付け、実践にあたって必要な準備を整えられること。

授業全体の内容と概要

就職活動に関わる代理店や業界から来学する講師により情報提供を受け、さらには就職活動の流れや留意事項を把握するため定内至った先輩たちの体験談などを聴くなど、毎週に内容・テーマを変えて行われる。
 そして、学びを実践する場として学内合同企業説明会を全員参加で行う。

授業の方法

毎回の主題に準じた各界の講師による講話を主とした授業が行われる。概要説明はPowerPointにて作成され、他に配布物としてプリントが用いられることもある。講話終了後に質疑応答が行われ、疑問や要望などの解決に対応する。学生は毎授業毎に振り返りシートを記入提出し、添削を受ける。学内合同企業説明会は、服装や持ち物など、事前指導に沿って準備して臨む。
 不測時における授業や補講等ではオンラインにて実施する場合がある。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	○	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

シラバスを読み授業の進行確認をすること。
 初回のガイダンスにて説明を受ける各回の講師について、事前に下調べをしておくこと。
 講話終了後の質疑応答には積極的に参加すること。
 不測の事態が起きた際にオンライン授業を実施する場合がある。
 遅刻1回は0.5回の欠席扱いとする。但し、交通機関の遅延による遅刻は証明書類を持って担当教員に申し出ること。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
 講義中の録音・録画・撮影は事前相談を経て、個人利用に限り許可する場合がある。
 板書の量および方法等について配慮する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は13回以上

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	80%	0%	0%	20%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能 「毎回の講話内容を把握し、実践で生かす力が身に付いている」	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容を的確に捉えており、自らの就職活動に役立てるために整理された内容になっている。作文量も充実している。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容を的確に捉えており、作文量も充実している。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容をほぼ把握した内容になっている。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の理解について不十分であり、作文量も少ない。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話を理解できておらず、作文量も不足している。
思考力・判断力・表現力 「講師から求められる課題や、実践的・学問的な要求に積極的に応えられている」	提出された課題の内容が充実しており、授業内容を分析し考えられている。積極的に授業参加しようとする意思が感じられる。	提出された課題の内容が充実しており、授業から知識を得ようとする意識を持っている。	提出された課題の内容が適切であり、授業で伝えられる知識の吸収についても問題が無い。	提出された課題の内容が不十分であり、授業への参加意識が低い。	求められる課題の提出がされておらず、授業への参加意識が著しく低い。
主体性・多様性・協働性 「必要とされる情報を積極的に自らに取り込み、就職活動に生かそうとする意思を持っている」	講話の内容を的確に把握し、自らの意見を交えて情報の整理することができている。質疑応答への参加など積極性も高い。	講話の内容を的確に把握し、自らの意見を交えて情報の整理することができている。	講話の内容を的確に把握し、情報を整理することができている。	講話の内容把握が不完全であり、情報の整理も未熟である。	講話の内容把握が理解できていない。

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	北嶋 洋一(デザイン学科・教授)	研究室等所在	2号館5階		
単位数	1 (単位認定責任者: 北嶋 洋一)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	講義の概要/スタートアップ・シラバスの説明・オリエンテーション	シラバスを読み、授業の流れを把握する。(45分)	授業から伝えられる情報収集について、その目的を明確にする。(45分)
2	インターンシップの準備と対策 /マイナビ登録・インターンシップに参加する意味・マイナビ2026登録	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
3	インターンシップの準備と対策 /リクナビ登録・インターンシップの準備と対策・リクナビ登録	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
4	合説について/就職活動のスケジュール・合同企業説明会の周知方、質問など・就職活動の主なスケジュール	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
5	GPS-Academicのフィードバック・GPS-Academicを用いた自己PR作成の方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
6	人事担当者講演・企業側から見る履歴書の意味や面接の意味など	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
7	ビジネスマナー・実際のマナーを学んでみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
8	学科毎企業説明会・企業説明会 - 各学科2社ずつ企業を呼び説明会の実施	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
9	SPI/履歴書作成講座・履歴書の作成方法やSPI試験の概要等	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
10	履歴書作成講座・履歴書の作成方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
11	履歴書を書いてみる・学んだ事を参考に実際に記載してみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
12	面接対策講座・面接の種類と概要・面接、グループディスカッションの対策方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
13	SPI模擬受検・言語・非言語問題を解いてみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
14	就職内定報告会・各学科の就職内定者の報告会	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
15	学科毎企業説明会・企業説明会 - 各学科2社ずつ企業を呼び説明会の実施	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
16	まとめ/フィードバック・就職情報サイト利用方法・キャリア支援センターの利用方法・支援方法	全授業内容を振り返っておくこと。(45分)	全授業内容を整理し、その実践について考え、準備する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員	研究室等所在	各研究室		
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

就職活動に必須とされる社会人常識や選考に望むためのプロセスを学び、3年次に於いて本格化する就職活動のための態勢を整える。

授業の位置づけ

全学科のDP1、DP2、DP5に対応する。(2024年度)
 建築学科のDP1、DP2に対応する。(2023年度)
 建築学科のDP1、DP4に対応する。(2021年度)

到達目標

学生が自身の就職活動を客観的に評価し、常に改善意識を持ちながら繰り返し実践を続けていくことができるようになる。

授業全体の内容と概要

就職活動に関する代理店や業界から来学する講師により情報提供を受け、さらには就職活動の流れや留意事項を把握するため内定に至った先輩たちの体験談などを聴くなど、授業毎に内容・テーマを変えて行われる。そして、学びを実践する場として学内合同企業説明会を全員参加で行う。

授業の方法

毎回の主題に準じた各界の講師による講話を主とした授業が行われる。概要説明はPowerPointにて作成され、他に配布物としてプリントが用いられることもある。講話終了後に質疑応答が行われ、疑問や要望などの解決に対応する。学生は毎授業毎に振り返りシートを記入提出し、添削を受ける。学内合同企業説明会は、服装や持ち物など、事前指導に沿って準備して臨む。不測における授業や補講等でオンラインにて授業を実施します。遅刻1回で0.5回の欠席扱いとする。但し、公共交通機関の遅刻については証明書類を持って担当教員に申し出ること。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	○	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

シラバスを読み授業の進行確認をすること。
 初回のガイダンスにて説明を受ける各回の講師について、事前に下調べをしておくこと。
 講話終了後の質疑応答には積極的に参加すること。
 不測の事態が起きた際にオンライン授業を実施する場合がある。
 遅刻1回は0.5回の欠席扱いとする。但し、交通機関の遅延による遅刻は証明書類を持って担当教員に申し出ること。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。講義中の録音・録画・撮影は事前相談を経て、個人利用に限り許可する場合がある。被害の量および方法等について配慮する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は13回以上

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	80%	0%	0%	20%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能 「毎回の講話内容を把握し、実践で生かす力が身に付いている」	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容を的確に捉えており、自らの就職活動に役立てるために整理された内容になっている。作文量も充実している。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容を的確に捉えており、作文量も充実している。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の内容をほぼ把握した内容になっている。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話の理解について不十分であり、作文量も少ない。	毎回提出の振り返りシートの内容が、講話を理解できておらず、作文量も不足している。
思考力・判断力・表現力 「講師から求められる課題や、実践的・学問的な要求に積極的に応えられている」	提出された課題の内容が充実しており、授業内容を分析し考えられている。積極的に授業参加しようとする意思が感じられる。	提出された課題の内容が充実しており、授業から知識を得ようとする意識を持っている。	提出された課題の内容が適切であり、授業で伝えられる知識の吸収についても問題が無い。	提出された課題の内容が不十分であり、授業への参加意識が低い。	求められる課題の提出がされておらず、授業への参加意識が著しく低い。
主体性・多様性・協働性 「必要とされる情報を積極的に取り込み、就職活動に生かそうとする意思を持っている」	講話の内容を的確に把握し、自らの意見を交えて情報の整理ができている。質疑応答への参加など積極性も高い。	講話の内容を的確に把握し、自らの意見を交えて情報の整理ができている。	講話の内容を的確に把握し、情報を整理できている。	講話の内容把握が不完全であり、情報の整理も未熟である。	講話の内容把握が理解できていない。

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員	研究室等所在	各研究室		
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	講義の概要/スタートアップ ・シラバスの説明 ・オリエンテーション	シラバスを読み、授業の流れを把握する。(45分)	授業から伝えられる情報収集について、その目的を明確にする。(45分)
2	インターンシップの準備と対策 /マイナビ登録 ・インターンシップに参加する意味 ・マイナビ2026登録	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
3	インターンシップの準備と対策 /リクナビ登録 ・インターンシップの準備と対策 ・リクナビ2026登録	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
4	合説について/就職活動のスケジュール ・合同企業説明会の周り方、質問など ・就職活動の主なスケジュール	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
5	GPS-Academicのフィードバック ・GPS-Academicを用いた自己PR作成の方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
6	人事担当者講演 ・企業側から見る履歴書の意味や面接の意味など	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
7	ビジネスマナー ・実際のマナーを学んでみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
8	学科毎企業説明会 ・企業説明会 - 各学科2社ずつ企業を呼び説明会の実施	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
9	SPI/履歴書作成講座 ・履歴書の作成方法やSPI試験の概要等	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
10	履歴書作成講座 ・履歴書の作成方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
11	履歴書を書いてみる ・学んだ事を参考に実際に記載してみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
12	面接対策講座 ・面接の種類と概要 ・面接、グループディスカッションの対策方法	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
13	SPI模擬受検 ・言語・非言語問題を解いてみる	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
14	就職内定報告会 ・各学科の就職内定者の報告会	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
15	学科毎企業説明会 ・企業説明会 - 各学科2社ずつ企業を呼び説明会の実施	次回の授業内容に必要な事前取材をする。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する。(45分)
16	まとめ/フィードバック ・就職情報サイト利用方法 ・キャリア支援センターの利用方法・支援方法	全授業内容を振り返っておくこと。(45分)	全授業内容を整理し、その実践について考え、準備する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	みらい創造プログラム (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		
オフィスアワー			

概要

履修目標

授業の位置づけ

到達目標

授業全体の内容と概要

授業の方法

アクティブラーニングの実施方法					
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL		
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業		
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)		

履修上の注意事項

修学サポート(合理的配慮)

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	みらい創造プログラム (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年生		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターンシップ・キャリア (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館1階キャリア支援センター		
単位数	1 (単位認定責任者: 各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社))	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	キャリア支援センターにて対応				

概要

履修目標
社会経験・就業体験を通して企業で現実に要求される能力や今後必要とされる能力を学習する。

授業の位置づけ
全学科のDP1、DP2、DP5に対応する。(2024年度)

到達目標
社会経験・就業体験を通して、将来の進路決定の際の判断材料とする。

授業全体の内容と概要
就業先で説明や体験、就業に各自参加する。

授業の方法
社会経験・就業体験を通して、業界研究、企業研究、職種研究、社会人マナー等を学習する。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
授業の出席状況が不良、取得単位が不足の学生は申し込み不可

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件
説明会などへの参加、1年を通して5日以上または45時間以上のインターンシップ参加、参加企業からの評価が記入されている評価表の提出を必須とする。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	0%	100%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
自主性・積極性	学ぶ意識を高く持ち、周囲とのコミュニケーションを積極的に取り組んでいた	周囲とのコミュニケーションを図り、指示がない業務にも積極的に取り組んでいた	積極性は乏しいものの、要請された業務に取り組んでいた	質問なども少ないが、要請された業務には取り組む余力が見られた	消極的で業務への取り組みをしていなかった
協調性	依頼や要請に積極的に周囲との連携を図りながら取り組んでいた	依頼や要請に周囲との連携を図りながら取り組んでいた	依頼や要請に協力的な態度で取り組んでいた	依頼や要請に協力的に取り組むよう努力していた	依頼や要請に非協力的で取り組んでいなかった
責任性	出勤簿などの提出物を事前に準備し提出した	出勤簿などの提出物を締切前までに提出した	出勤簿などの提出物を締切までに提出した	出勤簿などの提出物を締切後に遅れて提出した	出勤簿などの提出物を提出しなかった

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年生		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターンシップ°・きやり (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館1階キャリア支援センター		
単位数	1 (単位認定責任者: 各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社))	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	説明会	単位申請の確認(45分)	就業に関する確認(45分)
2	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
3	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
4	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
5	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
6	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
7	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
8	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
9	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
10	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
11	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
12	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
13	インターンシップ先での就業	プログラム内容前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
14	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
15	インターンシップ先での就業	プログラム内容前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
16	インターンシップ先での就業もしくは報告会	全体を通しての総括(45分)	全体を通しての反省・フィードバック

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年生		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターシップ・キャリア (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館1階キャリア支援センター		
単位数	1 (単位認定責任者: 各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社))	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	キャリア支援センターにて対応				

概要

履修目標
社会経験・就業体験を通して企業で現実に要求される能力や今後必要とされる能力を学習する。

授業の位置づけ
全学科のDP1、DP2、DP5に対応する。(2023・2022年度)

到達目標
社会経験・就業体験を通して、将来の進路決定の際の判断材料とする。

授業全体の内容と概要
就業先で説明や体験、就業に各自参加する。

授業の方法
社会経験・就業体験を通して、業界研究、企業研究、職種研究、社会人マナー等を学習する。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
授業の出席状況が不良、取得単位が不足の学生は申し込み不可

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件
説明会などへの参加、1年を通して5日以上または45時間以上のインターンシップ参加、参加企業からの評価が記入されている評価表の提出を必須とする。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	0%	100%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
自主性・積極性	学ぶ意識を高く持ち、周囲とのコミュニケーションを積極的に取り組んでいた	周囲とのコミュニケーションを図り、指示がない業務にも積極的に取り組んでいた	積極性は乏しいものの、要請された業務に取り組んでいた	質問なども少ないが、要請された業務には取り組む余力が見られた	消極的で業務への取り組みをしていなかった
協調性	依頼や要請に積極的に周囲との連携を図りながら取り組んでいた	依頼や要請に周囲との連携を図りながら取り組んでいた	依頼や要請に協力的な態度で取り組んでいた	依頼や要請に協力的に取り組むよう努力していた	依頼や要請に非協力的で取り組んでいなかった
責任性	出勤簿などの提出物を事前に準備し提出した	出勤簿などの提出物を締切前までに提出した	出勤簿などの提出物を締切までに提出した	出勤簿などの提出物を締切後に遅れて提出した	出勤簿などの提出物を提出しなかった

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年生		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターンシップ°・きやり (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館1階キャリア支援センター		
単位数	1 (単位認定責任者: 各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社))	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	説明会	単位申請の確認(45分)	就業に関する確認(45分)
2	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
3	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
4	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
5	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
6	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
7	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
8	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
9	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
10	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
11	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
12	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
13	インターンシップ先での就業	プログラム内容前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
14	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
15	インターンシップ先での就業	プログラム内容前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
16	インターンシップ先での就業もしくは報告会	全体を通しての総括(45分)	全体を通しての反省・フィードバック(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年生		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターンシップ・キャリア (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館1階キャリア支援センター		
単位数	1 (単位認定責任者: 各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社))	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	キャリア支援センターにて対応				

概要

履修目標

社会経験・就業体験を通して企業で現実に要求される能力や今後必要とされる能力を学習する。

授業の位置づけ

全学科のDP1、DP2、DP5に対応する。(2023・2022年度)

到達目標

社会経験・就業体験を通して、将来の進路決定の際の判断材料とする。

授業全体の内容と概要

就業先で説明や体験、就業に各自参加する。

授業の方法

社会経験・就業体験を通して、業界研究、企業研究、職種研究、社会人マナー等を学習する。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

授業の出席状況が不良、取得単位が不足の学生は申し込み不可

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、大学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

説明会などへの参加、1年を通して5日以上または45時間以上のインターンシップ参加、参加企業からの評価が記入されている評価表の提出を必須とする。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	0%	100%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
自主性・積極性	学ぶ意識を高く持ち、周囲とのコミュニケーションを積極的に取り組んでいた	周囲とのコミュニケーションを図り、指示がない業務にも積極的に取り組んでいた	積極性は乏しいものの、要請された業務に取り組んでいた	質問なども少ないが、要請された業務には取り組む余力が見られた	消極的で業務への取り組みをしていなかった
協調性	依頼や要請に積極的に周囲との連携を図りながら取り組んでいた	依頼や要請に周囲との連携を図りながら取り組んでいた	依頼や要請に協力的な態度で取り組んでいた	依頼や要請に協力的に取り組むよう努力していた	依頼や要請に非協力的で取り組んでいなかった
責任性	出勤簿などの提出物を事前に準備し提出した	出勤簿などの提出物を締切前までに提出した	出勤簿などの提出物を締切までに提出した	出勤簿などの提出物を締切後に遅れて提出した	出勤簿などの提出物を提出しなかった

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年生		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターンシップ°・きやり (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館1階キャリア支援センター		
単位数	1 (単位認定責任者: 各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社))	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	説明会	単位申請の確認(45分)	就業に関する確認(45分)
2	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
3	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
4	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
5	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
6	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
7	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
8	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
9	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
10	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
11	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
12	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
13	インターンシップ先での就業	プログラム内容前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
14	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
15	インターンシップ先での就業	プログラム内容前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
16	インターンシップ先での就業もしくは報告会	全体を通しての総括(45分)	全体を通しての反省・フィードバック(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・4年生		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターンシップ・キャリア (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館1階キャリア支援センター		
単位数	1 (単位認定責任者: 各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社))	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	キャリア支援センターにて対応				

概要

履修目標
社会経験・就業体験を通して企業で現実に要求される能力や今後必要とされる能力を学習する。

授業の位置づけ
全学科のDP1、DP2、DP5に対応する。(2021年度)

到達目標
社会経験・就業体験を通して、将来の進路決定の際の判断材料とする。

授業全体の内容と概要
就業先で説明や体験、就業に各自参加する。

授業の方法
社会経験・就業体験を通して、業界研究、企業研究、職種研究、社会人マナー等を学習する。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
授業の出席状況が不良、取得単位が不足の学生は申し込み不可

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件
説明会などへの参加、1年を通して5日以上または45時間以上のインターンシップ参加、参加企業からの評価が記入されている評価表の提出を必須とする。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	0%	100%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
自主性・積極性	学ぶ意識を高く持ち、周囲とのコミュニケーションを積極的に取り組んでいた	周囲とのコミュニケーションを図り、指示がない業務にも積極的に取り組んでいた	積極性は乏しいものの、要請された業務に取り組んでいた	質問なども少ないが、要請された業務には取り組む余力が見られた	消極的で業務への取り組みをしていなかった
協調性	依頼や要請に積極的に周囲との連携を図りながら取り組んでいた	依頼や要請に周囲との連携を図りながら取り組んでいた	依頼や要請に協力的な態度で取り組んでいた	依頼や要請に協力的に取り組むよう努力していた	依頼や要請に非協力的で取り組んでいなかった
責任性	出勤簿などの提出物を事前に準備し提出した	出勤簿などの提出物を締切前までに提出した	出勤簿などの提出物を締切までに提出した	出勤簿などの提出物を締切後に遅れて提出した	出勤簿などの提出物を提出しなかった

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・4年生		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターンシップ°・きやり (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館1階キャリア支援センター		
単位数	1 (単位認定責任者: 各学科キャリア支援委員担当教員・小早川 俊哉(社))	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	説明会	単位申請の確認(45分)	就業に関する確認(45分)
2	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
3	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
4	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
5	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
6	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
7	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
8	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
9	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
10	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
11	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
12	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
13	インターンシップ先での就業	プログラム内容前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
14	インターンシップ先での就業	前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
15	インターンシップ先での就業	プログラム内容前日の振り返り、プログラム内容や目標等の確認(45分)	反省などや次回への目標の確認(45分)
16	インターンシップ先での就業もしくは報告会	全体を通しての総括(45分)	全体を通しての反省・フィードバック(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	海外短期留学プログラ (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		
オフィスアワー			

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	P B L
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

修学サポート(合理的配慮)

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	海外短期留学プログラ (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	海外研修プログラム (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		
オフィスアワー			

概要

履修目標

授業の位置づけ

到達目標

授業全体の内容と概要

授業の方法

アクティブラーニングの実施方法					
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL		
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業		
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)		

履修上の注意事項

修学サポート(合理的配慮)

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	海外研修プログラム (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科3年生		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	グローバル英語プログ (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	岡島 徳昭(経営・特任教授)、信濃 吉彦(経営・教授)		研究室等所在	1号館3階、2号館6階	
単位数	4	(単位認定責任者: 信濃 吉彦)	CAP制	x	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	各教員の研究室前掲示板等を確認すること。				

概要

履修目標
国際言語である英語の運用能力を高めTOEIC700点突破を目指す。加えて、すべての技能分野および米国の大学システムや文化等に対する理解を深める。

授業の位置づけ
大学のディプロマポリシー3番と5番に対応する科目(2021、2022)

到達目標
英語に関する技能・知識に関してTOEIC700点レベルを目指す。

授業全体の内容と概要
本講座は2名の講師によるオムニバス方式で行う。3年次と4年次を通しての2年間通年科目なので頑張って継続して欲しい。TOEIC700点突破を目指すのでそのつもりで受講していただきたい。語彙の習得、文法事項の整理・学習からTOEIC対策問題への取り組み、英語圏の大学制度や文化まで幅広く学習する。

授業の方法
本講座は通常、対面で行うものとする。特別な事情によりリモートで行う場合もある。各回の授業内容は担当教員の指示に従うこと。また、本講座はVoiceTraの使用を認める場合がある。

アクティブラーニングの実施方法					
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク
	模範授業		ロールプレイ		調査学習
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業
					PBL
					反転授業
					その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
本講座は、単位認定に関して特別に期間を設けて履修登録を行うので注意すること。ノートを必ず持参し、出来れば辞書も用意すること(高校の時に利用していたモノで可です)

修学サポート(合理的配慮)

必ず担当教員に直接もしくはゼミ担任を通して事前相談をすること。本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートを実施します。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件
全授業回数は最低64回です。欠席可能回数は20(半期)につき3回までです。自然災害等で出席ができない場合など必ずチームズで連絡すること。

評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	15%	0%	70%	15%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にいるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科3年生		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	グローバル英語プログ (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	岡島 徳昭(経営・特任教授)、信濃 吉彦(経営・教授)		研究室等所在	1号館3階、2号館6階	
単位数	4	(単位認定責任者: 信濃 吉彦)	CAP制	x	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『公式TOEIC Listening & Reading問題集9』	ETS	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会	2023	978-4-906033-68-3	
2	『公式TOEIC Listening & Reading問題集10』	ETS	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会	2023	978-4-906033-71-3	
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年・4年(留学生対象)		
開講時期	通年	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	上級日本語プログラム (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	竜野 征一郎(経営学科・非常勤講師)	研究室等所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	4 (単位認定責任者: 竜野 征一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	事前連絡後に調整をし、非常勤講師室等に対応。				

概要

履修目標

教養力と語学力を幅広く身に付け、日本における実社会で活躍するための高度な日本語スキルを修得する。それぞれの場面に合った日本語の表現方法を学び、円滑な会話やコミュニケーションに必要な能力を身に付ける。

授業の位置づけ

対象外

到達目標

様々な文章を読み、ディスカッションや発表などの活動を通して、総合的な日本語運用能力を身に付ける。

授業全体の内容と概要

様々な文章を読み、内容および日本語の表現について理解を深めるとともに、ディスカッションや発表などの活動を行うために必要な表現・構成についても学習を行う。日本語能力試験N1レベル相当以上の内容を取り扱う。

授業の方法

授業では主にプリントなどを用いながら、ディスカッションや発表などを学習活動に取り入れて講義を行う。指定された課題を作成してもらうほか、レポート作成など、自主的に行い、提出したものがあれば評価の対象とする。また、受講者数に応じてグループワークおよびグループ発表を行う場合がある。なお、不測時における授業や補講等でオンラインやオンデマンドによる授業を実施する場合がある。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

受講対象者は留学生とする。前期に開講される上級日本語を受講していることを前提とする。受講者の発表や意見交換に向けて、資料の用意や課題作文など積極的に取り組むこと。また、事前に配布される資料には必ず目を通しておくこと。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は、1回以上。出席状況、課題提出、発表能力、試験、授業への参加態度など総合的に判断する。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	30%	50%	0%	15%	5%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
文章理解	テキストに関する一般的な背景知識および具体的な例運情報を使用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。	筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。	テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。	テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。	テキストの内容について、理解できなかった。
日本語表現	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。
発表	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。	適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。	主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。	話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年・4年（留学生対象）		
開講時期	通年	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	上級日本語プログラム（科目ナンバリング： ）				
授業担当者（所属・職名）	竜野 征一郎（経営学科・非常勤講師）	研究室等所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	4（単位認定責任者： 竜野 征一郎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』					
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『参考文献・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』					
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	オリエンテーション（シラバスの説明および今期の授業目的と進め方について解説・プレースメントテスト・実力確認を含む）	シラバスを熟読し、本講義について理解しておくこと（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと授業では主にプリントなどを用いながら、ディスカッションや発表などを学習活動に取り入れて講
2	上級表現練習（1）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
3	上級表現練習（2）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
4	上級表現練習（3）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
5	上級表現練習（4）トピック 4回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
6	上級表現練習（5）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
7	上級表現練習（6）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
8	上級表現練習（7）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
9	上級表現練習（8）トピック 4回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
10	上級表現練習（9）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
11	上級表現練習（10）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
12	上級表現練習（11）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
13	上級表現練習（12）トピック 4回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
14	上級表現練習（13）発表と質疑応答	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
15	上級表現練習（14）まとめ	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
16	解説およびフィードバック 授業改善アンケートの実施	講義全体の内容についてふりかえりを行うこと（90分）	解説およびフィードバックを受け、講義に関してより理解を深めること（90分）

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	幼稚園教員養成プログラム (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	0 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		
オフィスアワー			

概要

履修目標

授業の位置づけ

到達目標

授業全体の内容と概要

授業の方法

アクティブラーニングの実施方法					
プレゼンテーション	グループワーク		フィールドワーク		P B L
模擬授業	ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

修学サポート(合理的配慮)

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	幼稚園教員養成プログラム (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	0 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	小学校教員養成プログ (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	0 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		
オフィスアワー			

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	P B L
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

修学サポート(合理的配慮)

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	小学校教員養成プログ (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	0 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	介護職員初任者研修Ⅱ (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	4 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		
オフィスアワー			

概要

履修目標

授業の位置づけ

到達目標

授業全体の内容と概要

授業の方法

アクティブラーニングの実施方法					
プレゼンテーション	グループワーク		フィールドワーク		P B L
模擬授業	ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

修学サポート(合理的配慮)

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	通年	授業形態	必修・選択
科目名称	介護職員初任者研修プ (科目ナンバリング:)		
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在	
単位数	4 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3,4年生		
開講時期	通年	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	公務員試験対策プログ (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	公務員講座担当教員・東京アカデミー札幌校講師		研究室等所在	星槎道都大学	
単位数	2	(単位認定責任者: 各学科キャリア支援委員担当教員)	CAP制	x	
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			
オフィスアワー	キャリア支援センターにて対応				

概要

履修目標

様々な公務員試験に対応できるように学ぶ

授業の位置づけ

全学科のDP1、DP2、DP4、DP5に対応する。(2022年度)

到達目標

公務員試験の現状を理解するとともに、自身が目標とする自治体等に採用される事を目標とする。

授業全体の内容と概要

英語や地理、歴史などの一般知識をはじめ、公務員講座では必須となる数的推理や判断推理などの一般知識を学習する。

授業の方法

複数の担当教員と東京アカデミー講師で授業を進める。本科目は出席を重視し、欠席可能回数は2回までとしこれを超えた場合は単位認定の対象としない。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

3年生、4年生のみが単位認定の対象となり、30回以上出席をした学生は4年次に単位が付与される。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は30回以上とする。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	40%	60%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	中間テストで70点以上の得点を挙げた	中間テストで60点以上の得点を挙げた	中間テストで50点以上の得点を挙げた	中間テストで40点以上の得点を挙げた	中間テストで40点をクリアすることができなかった
思考力・判断力・表現力	積極的に授業に取り組み、質問なども具体的にできている。	授業に取り組み、質問などもある程度できる	授業に取り組み姿勢に努力が見られる。	授業に取り組み姿勢に努力は見られるが、講座の意図を理解していない。	授業に取り組み姿勢に不十分であり、講座の意図を理解していない
主体性	自身の将来像が具体的に見え、自らがその方向性に向かって努力している	自身の将来像が見え、努力をしようとしている。	自身の将来が見えていないが努力をしようとしている。	自身の将来を考えていないが、情報収集はしている。	自身の将来を考えておらず、情報収集もする気がない。

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3,4年生		
開講時期	通年	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	公務員試験対策プログ (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	公務員講座担当教員・東京アカデミー札幌校講師	研究室等所在	星槎道都大学		
単位数	2 (単位認定責任者: 各学科キャリア支援委員担当教員)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『基礎力養成・完成テキスト』	東京アカデミー				
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	本講座の目的や趣旨の説明	シラバスの確認(45分)	当該授業テキストの確認(45分)
2	担当教員により授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
3	担当教員により授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
4	担当教員により授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
5	担当教員により授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
6	担当教員により授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
7	担当教員により授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
8	担当教員により授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
9	担当教員により授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
10	担当教員により授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
11	担当教員により授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
12	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
13	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
14	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
15	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
16	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
18	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
19	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
20	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
21	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
22	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
23	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
24	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
25	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
26	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
27	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
28	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
29	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
30	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
31	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)
32	東京アカデミー講師による授業	当該授業のテキスト確認(45分)	次回授業のテキスト確認(45分)

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年・2年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	教員採用試験対策プロ (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	木村浩紀(社会福祉学科・特任教授)・千葉聡美(社会福祉学科・特任教授)		研究室等所在	2号館8階(木村)・2号館7階(千葉)	
単位数	4 (単位認定責任者: 木村 浩紀)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			
オフィスアワー	研究室前の掲示ボードを参照				

概要

履修目標	教員になるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び意欲を身に付ける。
------	---

授業の位置づけ	<p><1年生> 全学科のDP1, DP2, DP4, DP5に対応する。(2024年度)</p> <p><2年生> 社会福祉学科のDP2, DP4, DP5に対応する。(2023・2022年度) デザイン学科・建築学科のDP2, DP4に対応する。(2023・2022年度) 経営学科・経営学科スポーツマネジメントコースのDP2, DP4に対応する。(2023・2022年度)</p>
---------	---

到達目標	<p><1年生> 教員への自らの夢や希望を確かなものとともに基礎学力の向上を図る。</p> <p><2年生> 教職に関する基本的な内容の理解を深めるとともに、教員に必要な資質を身につける。</p>
------	--

授業全体の内容と概要	<p>教員として求められる一般教養及び教職教養の学修教育に関する基本的事項についての調べ学修 先輩教員・4年生の経験から学ぶ SDG4「質の高い教育をみんなに」の関連科目</p>
------------	---

授業の方法	<p>教員採用試験の対策として、教員として求められる一般教養及び教職教養について演習を行い、必要に応じて解説する。(合同授業以外は、各学年ごとに別教室で行う)</p> <p>板書や教材提示装置を活用する。 教育に関するキーワードについての調べ学修及びその発表を行う。 Microsoft Teams/Forms の諸機能を活用し、先輩教員の講話等も行う。</p>
-------	---

アクティブラーニングの実施方法					
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	<p>教職課程を履修し、大学卒業後に教職に就く強い希望と意思を持った学生を原則対象とする。 漢字検定取得に真摯に取り組むことを履修の条件とする。(目標準2級) プリント類はフラットファイルに格納し、計画的に復習すること。 ○不測の事態の際にオンライン授業を実施する場合がある。</p>
----------	--

修学サポート(合理的配慮)	<p>事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。</p>
資格指定科目	

評価方法・基準

評価前提条件	<p>単位認定に必要な最低出席回数は、1年、2年とも22回以上。 1年次に出席数が足りない場合は、2年次に進むことは不可。</p>												
評価方法	<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>80%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	20%	0%	80%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他								
0%	0%	20%	0%	80%	0%								

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても習得することができた。	学修した知識・技能を十分に修得することができた。	学修した知識・技能を修得することができた。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。
思考力・判断力・表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年・2年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	教員採用試験対策プロ (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	木村浩紀(社会福祉学科・特任教授)・千葉聡美(社会福祉学科・特任教授)	研究室等所在	2号館8階(木村)・2号館7階(千葉)		
単位数	4 (単位認定責任者: 木村 浩紀)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 特別支援学校教員及び教育行政職員としての経験を活かして教職に関連する指導を行う。			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『使用しない』					
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(全体) 年間の予定の確認	シラバスを確認すること。(90分)	年間の予定や採用試験までの予定をイメージすること。(90分)
2	オリエンテーション 今後の予定の確認(1年生・2年生ごと) 自己紹介・志望動機	教職志望の理由をまとめること。(90分)	本時の内容について復習すること。(90分)
3	1年生(講話) 担当教員から学ぶ 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
4	1年生(講話) 担当教員から学ぶ 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
5	1年生(講話) 担当教員から学ぶ 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
6	1年生(講話) 担当教員から学ぶ 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
7	1年生(講話) 担当教員から学ぶ 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
8	1年生(一般教養) 人文分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
9	1年生(一般教養) 人文分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
10	1年生(一般教養) 人文分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
11	1年生(一般教養) 人文分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
12	1年生(一般教養) 人文分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
13	1年生(一般教養) 社会分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
14	1年生(一般教養) 社会分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
15	1年生(一般教養) 社会分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習すること。(90分)
16	前期の学修の総括 1年生(一般教養) 社会分野	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17	後期の学修予定の確認 1年生(一般教養) 社会分野	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
18	1年生(一般教養) 社会分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
19	1年生(一般教養) 社会分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
20	1年生(一般教養) 自然科学分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
21	1年生(一般教養) 自然科学分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
22	1年生(一般教養) 自然科学分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(45分)
23	1年生(一般教養) *先輩教員からの情報提供・助言 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(45分)	本時の講話の内容について復習をすること。(90分)
24	1年生(一般教養) 自然科学分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	本時の講話の内容について復習をすること。(90分)
25	1年生(一般教養) 自然科学分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
26	1年生(一般教養) 自然科学分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
27	1年生(一般教養) 自然科学分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
28	1年生(一般教養) 自然分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
29	1年生(一般教養) 自然分野 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
30	1年生(一般教養) 全分野総合 2年生(教職教養)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
31	後期の学修の総括 1年生(一般教養) 全分野総合	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	解答を確認して復習をすること。(90分)
32	合同授業 *4年生の講話(先輩へのメッセージ)	本時のテーマについて予習をすること。(90分)	本時の講話の内容について復習をすること。(90分)

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・全学年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	宅地建物取引士試験対 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	小笠原 健(建築学科・専任講師)	研究室等所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 小笠原 健)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	宅地建物取引士であり、宅地建物取引業者に従事していた。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

国家資格である「宅地建物取引士試験」の合格に必要な知識を修得し、その国家試験に合格できる学力を修得する。

授業の位置づけ

建築学科のD P 2に対応する。(2024年度)
 建築学科のD P 2に対応する。(2023・2022年度)
 建築学科のD P 2に対応する。(2021年度)

到達目標

国家資格である「宅地建物取引士試験」に合格できる最低限の学力を備えることができる。

授業全体の内容と概要

使用テキストに沿って各分野の講義および演習問題の実施・解説を行い、各分野の知識を修得できる。

授業の方法

この講座は、権利関係、宅建業法、法令上の制限、税その他の4分野で構成されており、税その他の4講義については、夏休み中に映像配信を行うオンデマンド授業とする。
 また、夏休み明けの30の第1～2週目に定期試験を実施を行う。
 不測時における授業等は、オンラインまたはオンデマンドにて実施する場合がある。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L
	模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	○	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

準備学習として教科書の読み込みなどの予習を行い、講義後はその復習として、問題集を実施すること。
 このサブメジャー科目であるため、全講座の出席が必要であり、事前に欠席または相当な理由のある欠席であると認められる場合には、映像講義により補講を実施する。
 また、出席確認については、学習記録票への検印にて行うため、毎回持参すること。
 このシラバスのシステム上では、32回までしか表記できないため、別途、講義開始後に全37回分のシラバスを配布する。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な必要出席回数は全37回の出席。また、基礎点に定期試験の得点を加え、成績評価を行う。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
40%	0%	0%	0%	60%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
宅地建物取引士試験の「権利関係」分野に必要な知識を修得できる。	宅地建物取引士試験の「権利関係」分野において、合格に必要な知識を修得できていた。	宅地建物取引士試験の「権利関係」分野において、合格に必要な知識をおおむね修得できていた。	宅地建物取引士試験の「権利関係」分野において、合格に必要な知識を最低限修得できていた。	宅地建物取引士試験の「権利関係」分野において、合格に必要な知識の修得に向けて取り組む意志があった。	宅地建物取引士試験の「権利関係」分野において、合格に必要な知識を修得できていなかった。または、取り組む意志がなかった。
宅地建物取引士試験の「宅建業法」分野に必要な知識を修得できる。	宅地建物取引士試験の「宅建業法」分野において、合格に必要な知識を修得できていた。	宅地建物取引士試験の「宅建業法」分野において、合格に必要な知識をおおむね修得できていた。	宅地建物取引士試験の「宅建業法」分野において、合格に必要な知識を最低限修得できていた。	宅地建物取引士試験の「宅建業法」分野において、合格に必要な知識の修得に向けて取り組む意志があった。	宅地建物取引士試験の「宅建業法」分野において、合格に必要な知識を修得できていなかった。または、取り組む意志がなかった。
宅地建物取引士試験の「法令上の制限」分野に必要な知識を修得できる。	宅地建物取引士試験の「法令上の制限」分野において、合格に必要な知識を修得できていた。	宅地建物取引士試験の「法令上の制限」分野において、合格に必要な知識をおおむね修得できていた。	宅地建物取引士試験の「法令上の制限」分野において、合格に必要な知識を最低限修得できていた。	宅地建物取引士試験の「法令上の制限」分野において、合格に必要な知識の修得に向けて取り組む意志があった。	宅地建物取引士試験の「法令上の制限」分野において、合格に必要な知識を修得できていなかった。または、取り組む意志がなかった。
宅地建物取引士試験の「税その他」分野に必要な知識を修得できる。	宅地建物取引士試験の「税その他」分野において、合格に必要な知識を修得できていた。	宅地建物取引士試験の「税その他」分野において、合格に必要な知識をおおむね修得できていた。	宅地建物取引士試験の「税その他」分野において、合格に必要な知識を最低限修得できていた。	宅地建物取引士試験の「税その他」分野において、合格に必要な知識の修得に向けて取り組む意志があった。	宅地建物取引士試験の「税その他」分野において、合格に必要な知識を修得できていなかった。または、取り組む意志がなかった。

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・全学年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	宅地建物取引士試験対 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	小笠原 健(建築学科・専任講師)	研究室等所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 小笠原 健)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 宅地建物取引士であり、宅地建物取引業者に従事していた。			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『スッキリわかる宅建士2024年度版』	中村喜久夫	TAC出版	2023	978-4-300-10871-0	
2	『スッキリとける宅建士2024年度版』	中村喜久夫	TAC出版	2024	978-4-300-10872-7	
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明。授業の進め方について説明。学習記録票、受講申込書等の配布。	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
2	権利関係(第1章制限行為能力者)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
3	権利関係(第2章意思表示)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
4	権利関係(第3章代理・第4章時効)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
5	権利関係(第5章物権)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
6	権利関係(第6章抵当権)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
7	権利関係(第7章売買契約)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
8	権利関係(第8章賃貸借契約・借地借家法)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
9	権利関係(第9章債権の譲渡・消滅)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
10	権利関係(第10章連帯債務・保証債務)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
11	権利関係(第11章その他の契約・不法行為)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
12	権利関係(第12章相続)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
13	権利関係(第13章建物区分所有法)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
14	権利関係(第14章不動産登記法)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
15	宅建業法(第1章宅建業とは)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
16	宅建業法(第2章宅建業免許)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『どこでも学ぶ宅建士基本テキスト2024年度版』	日建学院	株建築資料研究社	2023		
2						
3						
4						
5						

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17	宅建業法(第3章宅地建物取引士)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
18	宅建業法(第4章営業保証金と保証協会)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
19	宅建業法(第5章業務上の規制)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
20	宅建業法(第6章重要事項説明・37条書面)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
21	宅建業法(第6章重要事項説明・37条書面)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
22	宅建業法(第7章自ら売主の8つの制限)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
23	宅建業法(第7章自ら売主の8つの制限)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
24	宅建業法(第8章監督処分罰則・第9章住宅瑕疵担保履行法)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
25	法令上の制限(第1章都市計画法・都市計画)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
26	法令上の制限(第2章都市計画法 開発許可・第3章建築基準法 単体規定集団規定)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
27	法令上の制限(第3章建築基準法 建築確認・用途制限)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
28	法令上の制限(第3章建築基準法 建蔽率・容積率・高さ制限)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
29	法令上の制限(第4章国土利用計画法)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
30	法令上の制限(第5章農地法)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
31	法令上の制限(第6章土地区画整理法)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)
32	法令上の制限(第7章盛土規制法・その他の法律)	シラバス資料を確認して、授業内容を予習する(45分)	授業内容を整理して、復習する(45分)

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	特別支援教育実習(事 (科目ナンバリング:))				
授業担当者(所属・職名)	堀川 厚志(社会福祉学科・特任教授)、藤根 収(社会福祉学科・特任教	研究室等所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 堀川 厚志)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、教育実習について事前指導する。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

特別支援学校の校種、教育の概要等について理解し、対象児童生徒の特徴、適切な教育的なかわり、配慮等について理解する。
特別支援学校における教育実習に必要な基本的な事項、授業設計に関することなど、模擬体験の演習を通して、体験的に理解する。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP2、DP4、DP5に対応する。(2023・2022年度)

到達目標

特別支援教育の趣旨や内容を理解するとともに、特別支援学校の校種、教育の概要等がわかる。
特別支援学校における対象児童生徒の特徴、児童生徒に対する教育的なかわり、配慮等がわかる。
特別支援学校における教育実習に必要な体験の意義、模擬体験の演習を通して授業設計と授業の実施ができる。

授業全体の内容と概要

特別支援教育の理念、障がいのある児童生徒の教育の意義について指導する。
特別支援学校の校種、教育の概要等、対象児童生徒の特徴、児童生徒に対する教育的なかわり、配慮等について指導する。
教育実習に必要な基本的な知識、態度について模擬体験により指導する。
特別支援学校における教育課程や授業設計について指導し、学習指導案の作成、授業実施、授業反省等、教育実習中に実施する一連の取組について、模擬体験の演習を通して指導する。
「SDG4・質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

授業はパワーポイント及び配布資料による講義形式とするが、模擬授業に関する授業設計や学習指導案の作成、模擬授業の実施については、実際の学校教育現場に近い形で進行する。
模擬授業の学習指導案、授業反省会等には、コメントしフィードバックする。
夏季休業中には、学校教育現場の見学や公開授業研究会等の参加を通して指導する。
学生の不明点等については、チャットにより迅速に解決できるようにする。

アクティブラーニングの実施方法

○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	○	PBL
○	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

4年次に体験する特別支援学校の教育実習(事前・事後指導)の単位取得に必修科目であること。
日常的に障害のある児童生徒の生活情報や教育情報に関心をもって把握しておくこと。
通年の授業時間以外に、特別支援学校の参観や研究授業等には参加すること。
特別支援学校に在籍する児童生徒の障害の状態や行動特徴について事前に理解しておくこと。
特別支援学校における授業のメインティーチャーとしての姿を想定して授業に臨むこと。
授業の構想、設計、学習指導案の作成にかかわる情報の収集、思考を繰り返すこと。
模擬授業の実施では、授業を多角的に観望したり考えたり授業改善を行う実践的態度を身に付けるために、授業を進行するメインティーチャーをはじめ、生徒役や観客者の役割を担い、事前期日までに固かな準備をすること。
不測の事態が生じた際の授業や補講等をオンラインやオンデマンドで実施する場合がある。

修学サポート(合理的配慮)

大学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
事前相談を受け、学生の希望する修学サポート内容及び評価の成立要件等を調整し、修学サポートを実施する。

資格指定科目

教職課程(特別支援学校教諭)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上とする。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	30%	0%	10%	60%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
特別支援教育の基礎的な知識・技能の理解	知識・技能に関する基礎的な内容について高い関心をもって理解し、さらに深めてふとすることができた。	知識・技能に関する基礎的な内容について、関心をもって理解し、学修することができた。	知識・技能に関する基礎的な内容を学修することができた。	知識・技能に関する基礎的な内容について一定程度理解することができた。	知識・技能に関する基礎的な内容の理解ができなかった。
授業設計及び実施にあたっての思考・判断・表現	自ら授業づくりを構想し、創意工夫を凝らした指導案作成と模擬授業に積極的に取り組んだ。	自ら授業づくりを構想し、指導案作成と模擬授業に積極的に取り組んだ。	自ら授業づくりを構想し、指導案作成と模擬授業に取り組んだ。	指導案作成と模擬授業に取り組んだ。	指導案作成と模擬授業への取り組みが十分にできなかった。
日常の授業や模擬授業体験への取り組み姿勢	非常に積極的に取り組むことができた。	積極的に取り組むことができた。	関心をもって取り組むことができた。	関心をもって取り組もうとした。	取組態度・姿勢が不十分だった。

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	特別支援教育実習(事 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	堀川 厚志(社会福祉学科・特任教授)、藤根 収(社会福祉学科・特任教)	研究室等所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 堀川 厚志)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『特別支援教育の基礎・基本 2020』	国立特別支援教育総合研究所	ジアース教育新社	2020	978-4-86371-548-6	
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション/シラバスの説明、授業改善アンケート結果反映の説明等	シラバスを読む(90分)	重要事項を整理する(90分)
2	特別支援学校における教育実習の意義や目的について	意義や目的を調べる(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
3	教育実習のスケジュール、留意点と心構え(挨拶、服務規律、注意点)	実習の留意点や心構えを考える(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
4	実習日誌の書き方、文章の書き方	実習日誌の目的、書き方を調べる(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
5	特別支援学校における教育の概要、学習指導の在り方について	特別支援学校の教育の概要を調べる(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
6	授業の在り方(チーム・ティーチングなど)と学習指導案の作成方法について(学習指導案の構成と要素、記入方法等)	特学校の学校の特別疎遠学校の授業の在り方を調べる(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
7	模擬授業体験の実施方法について(役割分担、説明と反省会等の在り方)	模擬授業の実施模擬授業の方法や役割分担、留意点を調べる(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
8	教科等を合わせた授業について学習指導案の作成方法について	学習指導案の作成方法を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理すること(90分)
9	模擬授業の実施と反省会1	模擬授業の方法や役割分担、留意点を調べる(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
10	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会2	学習指導案から模擬授業の展開について知る(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
11	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会3	学習指導案から模擬授業の展開について知る(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
12	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会4	学習指導案から模擬授業の展開について知る(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
13	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会5	学習指導案から模擬授業の展開について知る(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
14	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会6	学習指導案から模擬授業の展開について知る(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
15	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 授業改善アンケートの実施7	学習指導案から模擬授業の展開について知る(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
16	模擬授業(前半)のまとめと今後の課題 新たな指導の形態による模擬授業実施の説明 模擬授業実施方法の確認	模擬授業の改善点を確認する(90分)	まとめと課題を整理する(90分)

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『特別支援学校学習指導要領』	文部科学省	海文堂出版	2018	978-4-303-12424-3	
2	『教育実習完璧ガイド』	宮崎 猛 小泉博明	小学館	2015	978-4-09-105015-1	
3						
4						
5						

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17	授業の在り方(チーム・ティーチングなど)について 授業の展開と教材教具の開発と作成	授業の在り方について調べる(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
18	学習指導案の作成方法について(学習指導案の構成と要素、記入方法等)	学習指導案の作成方法について調べる(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
19	模擬授業の実施と反省会7	模擬授業の展開を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
20	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会8	前回の模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
21	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会9	前回の模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
22	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会10	前回の模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
23	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会11	前回の模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
24	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会12	前回の模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
25	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会13	前回の模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
26	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会14	前回の模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
27	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会15	前回の模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
28	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会16	前回の模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
29	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会17	前回の模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
30	前回の模擬授業の改善点のまとめと確認 模擬授業の実施と反省会18	前回の模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業内容と課題等を整理する(90分)
31	模擬授業(後半)の改善点のまとめ	模擬授業の改善点を確認する(90分)	授業の改善点のまとめを整理する(90分)
32	模擬授業(後半)の改善点のまとめ 学習指導案の作成のまとめ 教育実習の留意点、心構え等の確認	模擬授業の改善点を確認する(90分)	教育実習に必要な事項を整理する(90分)

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択（教職課）
科目名称	学校インターシップ ^o （学校体（科目ナンバリング：））				
授業担当者（所属・職名）	堀川厚志（社会福祉学科・特任教授）、 藤根収（社会福祉学科・特任教授）、千	研究室等所在	2号館8階		
単位数	1（単位認定責任者：堀川厚志）	CAP制	×		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	実務経験のある教員が学校体験活動に必要な事項を指導する。			
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

体験活動において、児童生徒や学習環境等に対して適切な観察を行うとともに、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、次の目標を達成することができる。
児童生徒の実態に応じた学校経営及び教育活動の特色を理解することができる。
教員に求められる資質能力や自らの教員としての適格性を把握することができる。

授業の位置づけ

経営学科、経営学科スポーツマネジメントコースのDP2、DP4、DP5に対応する。（2023・2022年度）
デザイン学科のDP2、DP4に対応する。（2023・2022年度）
建築学科のDP2、DP4に対応する。（2023・2022年度）
社会福祉学科のDP2、DP4、DP5に対応する。（2023・2022年度）

到達目標

学校または学校が主体となって展開する事業等において、一定量の体験活動を行うことにより、学校における教育活動の実態を総合的に理解することができる。

授業全体の内容と概要

学校において、学校運営にかかわる様々な活動を体験することにより、児童生徒の実態に応じた学校経営及び教育活動の特色を理解する。
体験活動を通して、教員に求められる資質能力や自らの教員としての適格性を把握する。
体験状況や体験によって得られた成果や課題について、その都度「活動報告書」に記録し、今後の自身の活動に活かすことができるよう整理し報告する。

授業の方法

学校において、生徒の話し相手、授業補助、学校行事・部活動への参加、事務作業の補助、放課後児童クラブ、放課後教室、土曜授業の補助、特別支援活動等に従事するとともに、活動報告書に具体的な活動及び学修事項を記入する。
体験活動発表会において成果等を発表し全体で共有する。
活動報告書については、評価とコメントにてフィードバックを行う。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	○	その他（授業の方法参照）

履修上の注意事項

服装・頭髪はもとより、個人情報取扱い等について体験活動受入先の指示に従うこと。
出席状況、受入態度の点で適格性を欠いていると判断された学生は、以後学習活動の機会を失うことがある。
担当教員は適宜、体験活動視察及び面談指導を行う。

修学サポート（合理的配慮）

大学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員（大学）が同意のもと修学サポートする。
事前相談を受け、学生の希望する修学サポート内容と授業及び評価の成立要件等を調整し、修学サポートを実施する。

資格指定科目

教職課程（全教科）必修科目

評価方法・基準

評価前提条件

事前指導・事後指導を含め、高等学校等における体験活動等を45分×30単位時間（1350分）以上行わなければならない。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	10%	10%	0%	0%	80%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
学校教育にかかわる体験活動を通して、様々な職務内容について理解する。（知識・技能）	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性についてよく理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について概ね理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について最低限理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について理解が著しく不足し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。
学校教育にかかわる体験活動の中で、活動に応じて思考・判断・表現等ができる（思考力・判断力・表現力）	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び教員としての適格性や解決すべき課題について十分に思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び教員としての適格性や解決すべき課題について概ね思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び教員としての適格性や解決すべき課題について最低限思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び教員としての適格性や解決すべき課題がなされず、期待される最低限度の基準に到達できなかった。
学校教育にかかわる体験活動について、積極的・意欲的に取り組むことができる。（主体的・積極的な取組態度）	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	各体験活動に大変主体的・積極的に取り組むことができた。	各体験活動に概ね主体的・積極的に取り組むことができた。	各体験活動への取組に特段の積極性・積極性は見られなかった。	各体験活動に主体的・積極的に取り組む態度が著しく欠け、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択（教職課）
科目名称	学校インターシップ ^o （学校体（科目ナンバリング：））				
授業担当者（所属・職名）	堀川厚志（社会福祉学科・特任教授）、 藤根収（社会福祉学科・特任教授）、千		研究室等所在	2号館8階	
単位数	1（単位認定責任者：堀川厚志）	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 実務経験のある教員が学校体験活動に必要な事項を指導する。			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	事前指導・オリエンテーション（シラバスの説明含む）	シラバスを読む（4.5分）	体験活動のシステムを復習する（4.5分）
2	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
3	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
4	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
5	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
6	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
7	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
8	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
9	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
10	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
11	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
12	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
13	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
14	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
15	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（4.5分）	活動報告書を完成する（4.5分）
16	事後指導における活動体験の振り返りと成果と改善内容の整理	活動報告書をまとめる（4.5分）	活動報告書の感想を書く（4.5分）

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択（教職課）
科目名称	学校インターンシップ ^o （学校体（科目ナンバリング：））				
授業担当者（所属・職名）	堀川厚志（社会福祉学科・特任教授）、藤根収（社会福祉学科・特任教授）、千	研究室等所在	2号館8階		
単位数	1（単位認定責任者：堀川厚志）	CAP制	×		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	実務経験のある教員が学校体験活動に必要な事項を指導する。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照。				

概要

履修目標	体験活動において、児童生徒や学習環境等に対して適切な観察を行うとともに、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、次の目標を達成することができる。 児童又は生徒の実態に応じた学校経営及び教育活動の特色を理解することができる。 教員に求められる資質能力や自らの教員としての適格性を把握することができる。
授業の位置づけ	経営学科のDP2、DP4、DP5に対応する。（2021年度） デザイン学科のDP3、DP5に対応する。（2021年度） 建築学科のDP3、DP5に対応する。（2021年度） 社会福祉学科のDP2、DP4、DP5に対応する。（2021年度）
到達目標	学校または学校が主体となって展開する事業等において、一定量の体験活動を行うことにより、学校における教育活動の実態を総合的に理解することができる。

到達目標	学校または学校が主体となって展開する事業等において、一定量の体験活動を行うことにより、学校における教育活動の実態を総合的に理解することができる。
------	--

授業全体の内容と概要	学校において、学校運営にかかわる様々な活動を体験することにより、児童生徒の実態に応じた学校経営及び教育活動の特色を理解する。 体験活動をおして、教員に求められる資質能力や自らの適格性を把握する。 体験状況や体験によって得られた成果や課題について、その都度「活動報告書」に記録し、今後の自身の活動に活かすことができるよう整理し報告する。
授業の方法	学校において、生徒の話し相手、授業補助、学校行事・部活動への参加、事務作業の補助、放課後児童クラブ、放課後教室、土曜授業の補助、特別支援活動等に従事するとともに、活動日誌に具体的な活動及び学修事項を記入する。 体験状況や体験によって得られた成果や課題について、その都度「活動報告書」に記録し、今後の自身の活動に活かすことができるよう整理し報告する。 活動報告については、評価とコメントにてフィードバックを行う。

アクティブラーニングの実施方法	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
	模範授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
	ディスカッション	○ 実験・実習・実技	○ 双方向授業	○ その他（授業の方法参照）

履修上の注意事項	服装・頭髪はもとより、個人情報取扱い等について体験活動の受入先の指示に従うこと。 出席状況、受講態度等で適格性を欠いていると判断された学生は、以後学習活動の機会を失うことがある。 担当教員は適宜、体験活動視察及び面談指導を行う。
----------	--

修学サポート（合理的配慮）	本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員（大学）が同意のもと、修学サポートする。事前相談を受け、学生の希望する修学サポート内容と授業及び評価の成立要件等を調整し、修学サポートを実施する。
---------------	---

資格指定科目	教職課程（全教科）必修科目
--------	---------------

評価方法・基準

評価前提条件	事前指導・事後指導を含め、高等学校等における体験活動等を45分×30単位時間（1350分）以上行わなければならない。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	10%	10%	0%	0%	80%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
学校教育にかかわる大人としての役割について、きわめて高いレベルで実現することができた。（知識・技能）	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性についてよく理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について最低限理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について最低限理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について最低限理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について最低限理解することができなかつた。
学校教育にかかわる体験活動の中で、活動に応じて思考・判断・表現等ができる（思考力・判断力・表現力等）	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について十分に思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について最低限思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について最低限思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について最低限思考・判断がなされず、期待される最低限度の基準に到達できなかった。
学校教育にかかわる体験活動について、積極的・意欲的に取り組むことができる。（主体的・積極的な取組態度）	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	各体験活動に大変主体的・積極的に取り組むことができた。	各体験活動に概ね主体的・積極的に取り組むことができた。	各体験活動への取組に特段主体的・積極性は見られなかつた。	各体験活動に主体的・積極的に取り組む態度が著しく欠け、期待される最低限度の基準に到達することができなかつた。

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	選択（教職課）
科目名称	学校インターシップ ^o （学校体（科目ナンバリング：））				
授業担当者（所属・職名）	堀川厚志（社会福祉学科・特任教授）、 藤根収（社会福祉学科・特任教授）、千	研究室等所在	2号館8階		
単位数	1（単位認定責任者：堀川厚志）	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 実務経験のある教員が学校体験活動に必要な事項を指導する。			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	活動受入れ校との打ち合わせ 活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	体験活動のシステムを復習する (45分)
2	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
3	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
4	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
5	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
6	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
7	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
8	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
9	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
10	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
11	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
12	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
13	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
14	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動記録表を完成する (45分)
15	活動受入れ校における体験活動	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
16	事後指導における、活動体験の成果と課題、今後の活かし方等の整理	事前に受入れ校と打合せを行う (45分)	活動体験発表の感想を書く (45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	講義	必修・選択	課程必修
科目名称	教育実習(事前・事後) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	藤根 収(社会福祉学科・特任教授)、 堀川 厚志(社会福祉学科・特任教)		研究室等所在	未定	
単位数	1 (単位認定責任者: 堀崎 大輔)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	各教員の研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

(事前指導)教育実習生として必要な資質を理解し、教師として基礎的な知識や技能の修得することができる。(事後指導)教育実習の終了後、自らの教育実習を反省し、課題等を確認し、教師として今後の展望を見いだす。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(4)(5)に対応する。(2023・2022年度)
経営学科のDP(4)に対応する。(2023・2022年度)
デザイン学科のDP(4)に対応する。(2023・2022年度)
建築学科のDP(4)に対応する。(2023・2022年度)

到達目標

「教育実習」の目的・意義を理解し、生徒の実態や教科の目標・特性に応じた学習指導案を作成することができる。

授業全体の内容と概要

「教育実習」の目的・意義を具体的に理解し、生徒の実態や教科の目標・特性に応じた学習指導案を模擬授業をととして作成することができる。また、「教育実習」の自覚と責任を高め、社会人・教師としての知識・技能・態度目標を意欲的に培うことができる。「SDG4・質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

授業形態は講義形式であるが、板書の他に視聴覚メディア等を利用する。テキスト及び配布資料等を中心に講義を行う。また、後期には実践的な模擬授業が始まるので、教材研究・プリント作成・板書計画など関連する項目において、意欲的な態度で臨むこと。なお、模擬授業終了後にはコメントにてフィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

出席状況、受講態度の点で適格性を欠いていると判断された学生は、以後受講できなくなる場合があるので、真剣な取り組みを要する。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件

- ・無断欠席は、大きく減点される。学生の立場ではなく、教員としての立場が求められる。
- ・教育実習(事前・事後指導)の単位認定は、4年の後期に行われる。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	30%	0%	20%	30%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・理解	・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。
関心・意欲・態度	右の記述を高いレベルで実現することができた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究がしっかりできていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていなかった。
思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現することができた。	実践的な模擬授業において、より詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、教材研究がなされず、授業として成立していなかった。

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	講義	必修・選択	課程必修
科目名称	教育実習(事前・事後) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	藤根 収(社会福祉学科・特任教授)、 堀川 厚志(社会福祉学科・特任教)		研究室等所在	未定	
単位数	1 (単位認定責任者: 塩崎 大輔)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『教育実習完璧ガイド』	宮崎 猛編	小学館	2015	9784091050151	
2	『教育実習の手引(第7版)』	北海道私立大学教職課程研究連絡協議会編	学術図書出版社	2019	9784780607772	
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	前期オリエンテーション(シラバスの説明を含む)、教育実習の目的と意義、前年度の授業改善アンケート結果反映の説明	事前にシラバスを読んでいること。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
2	挨拶の実際1、教育実習の準備と心得	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
3	挨拶の実際2、実習校での禁止事項等	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
4	自己紹介の実際1、受け入れ学校の声	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
5	自己紹介の実際2、	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
6	自己紹介の実際3、	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
7	板書計画	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
8	学級指導の実際1	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
9	学級指導の実際2	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
10	学級指導の実際3	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
11	教育実習における授業の実際(VTRから学ぶ)	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
12	学習指導案の作成(基本)	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
13	教科別模擬授業(導入の実際)1	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
14	教科別模擬授業(導入の実際)2	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
15	教科別模擬授業(導入の実際)3	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
16	まとめ、課題(レポート・学習指導案など)の解説	まとめの準備をしておくこと。(45分)	まとめの整理をしておくこと。(45分)

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『中学校学習指導要領解説 各教科編(最新版)』					
2	『高等学校学習指導要領解説 各教科編(最新版)』					
3						
4						
5						

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17	後期オリエンテーション(シラバスの説明を含む)、模擬授業の日程について	事前にシラバスを読んでいること。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
18	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
19	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
20	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
21	学習指導案の作成	教材研究の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
22	学習指導案の作成	教材研究の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
23	学習指導案の作成	教材研究の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
24	プリント・板書計画の作成	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
25	プリント・板書計画の作成	事前にテキストの範囲を読んでいること。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
26	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
27	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
28	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
29	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
30	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
31	教育実習体験発表(4年)	教育実習体験発表を聞く準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
32	まとめ、課題(レポート・学習指導案など)の解説、授業改善アンケートの実施	まとめの準備をしておくこと。(45分)	まとめの整理をしておくこと。(45分)

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	講義	必修・選択	課程必修
科目名称	教育実習(事前・事後) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	藤根 収(社会福祉学科・特任教授)、 堀川 厚志(社会福祉学科・特任教)		研究室等所在	未定	
単位数	1 (単位認定責任者: 塩崎 大輔)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	各教員研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標	(事前指導)教育実習生として必要な資質を理解し、教師として基礎的な知識や技能の修得することができる。(事後指導)教育実習の終了後、自らの教育実習を反省し、課題等を確認し、教師として今後の展望を見いだす。												
授業の位置づけ	社会福祉学科のDP(2)、DP(3)、DP(4)、DP(5)に対応する。(2021年度) 経営学科のDP(2)、DP(3)、DP(4)に対応する。(2021年度) デザイン学科のDP(1)、DP(2)に対応する。(2021年度) 建築学科のDP(1)に対応する。(2021年度)												
到達目標	教育実習の終了後、自らの教育実習を反省し、課題等を確認し、教師として今後の展望を見いだすことができる。												
授業全体の内容と概要	「教育実習」の目的・意義を具体的に理解し、生徒の実態や教科の目標・特性に応じた学習指導案を模擬授業をととして作成することができる。また、「教育実習」の自覚と責任を高め、社会人・教師としての知識・技能・態度目標を意欲的に培うことができる。「SDG4・質の高い教育をみんなに」の関連科目。												
授業の方法	授業形態は講義形式であるが、板書の他に視聴覚メディア等を利用する。前期は実習前なので実践的な模擬授業が中心である。後期は3年の模擬授業を見学し、教育実習の反省点や課題を見つけると共に3年の教育指導も行う。なお、模擬授業終了後にはコメントにてフィードバックする。												
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL										
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業										
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)										
履修上の注意事項	出席状況、受講態度の点で適格性を欠いていると判断された学生は、以後受講できなくなる場合があるので、真剣な取り組みを要する。												

修学サポート(合理的配慮)	事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
資格指定科目	教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件	<ul style="list-style-type: none"> 無断欠席は、大きく減点される。学生の立場ではなく、教員としての立場が求められる。 教育実習(事前・事後指導)の単位認定は、4年の後期に行われる。 					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	20%	30%	0%	20%	30%

ルーブリック	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・理解</td> <td>・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。</td> </tr> <tr> <td>関心・意欲・態度</td> <td>右の記述を高いレベルで実現できた。</td> <td>教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究がしっかりできていた。</td> <td>教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。</td> <td>教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。</td> <td>教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>右の記述を高いレベルで実現できた。</td> <td>実践的な模擬授業において、より詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。</td> <td>実践的な模擬授業において、詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。</td> <td>実践的な模擬授業において、教材研究がなされ、授業として成立していた。</td> <td>実践的な模擬授業において、教材研究がなされず、授業として成立していなかった。</td> </tr> </table>						評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・理解	・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。	関心・意欲・態度	右の記述を高いレベルで実現できた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究がしっかりできていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていなかった。	思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現できた。	実践的な模擬授業において、より詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、教材研究がなされず、授業として成立していなかった。
評価項目	評価基準																																		
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																														
知識・理解	・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。																														
関心・意欲・態度	右の記述を高いレベルで実現できた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究がしっかりできていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていなかった。																														
思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現できた。	実践的な模擬授業において、より詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、教材研究がなされず、授業として成立していなかった。																														

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	講義	必修・選択	課程必修
科目名称	教育実習(事前・事後) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	藤根 収(社会福祉学科・特任教授)、 堀川 厚志(社会福祉学科・特任教)		研究室等所在	未定	
単位数	1 (単位認定責任者: 塩崎 大輔)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『教育実習完璧ガイド』	宮崎猛編	小学館	2015	9784091050151	
2	『教育実習の手引(第7版)』	北海道私立大学教職課程研究連絡協議会編	学術図書出版社	2019	9784780607772	
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	前期オリエンテーション(シラバスの説明を含む)、 模擬授業の日程など 前年度の授業アンケート結果反映の説明	事前にシラバスを読んでいること。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
2	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
3	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
4	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
5	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
6	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
7	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
8	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
9	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
10	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
11	模擬授業の見学(4年)	模擬授業の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
12	模擬授業の見学(4年)	模擬授業の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
13	模擬授業の見学(4年)	模擬授業の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
14	模擬授業の見学(4年)	模擬授業の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
15	模擬授業の見学(4年)	模擬授業の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
16	まとめ、課題(レポート・学習指導案など)の解説	まとめの準備をしておくこと。(45分)	まとめの整理をしておくこと。(45分)

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『中学校学習指導要領解説 各教科編(最新版)』					
2	『高等学校学習指導要領解説 各教科編(最新版)』					
3						
4						
5						

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17	後期オリエンテーション(シラバスの説明を含む)、 模擬授業の日程について	事前にシラバスを読んでいること。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
18	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
19	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
20	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
21	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
22	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
23	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
24	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
25	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
26	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
27	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
28	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
29	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
30	教育実習体験発表(4年)	教育実習体験発表を聞く準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
31	教育実習体験発表(4年)	教育実習体験発表を聞く準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
32	教育実習後の反省と課題について 授業改善アンケートの実施	教育実習後の反省と課題の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	吉江 幸子(社会福祉学科・教授)	湯 浅 頼佳(社会福祉学科・専任講師)	研究室等所在	1号館2階(吉江)	1号館3階(湯浅)
単位数	2 (単位認定責任者: 吉江 幸子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	保育士として保育施設での勤務経験があり、その経験を生かして保育実習に向けた指導を行う。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照。				

概要

履修目標
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習の意義と目的を理解する。 2. 実習実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 4. 児童憲章について理解を深める。 5. 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 6. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。
授業の位置づけ
社会福祉学科のDP2、DP5に対応する。(2022年度)

到達目標
実習の意義、実習の内容と課題の明確化、実習に際しての留意事項、実習の計画と記録について理解する。

授業全体の内容と概要
実習の意義、実習の内容と課題の明確化、実習に際しての留意事項、実習の計画と記録について学修する。 「SDGs4. 質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法
授業はパワーポイントや視聴覚教材(DVD・ブルーレイ)も取り入れながら演習形式で行う。実習の事前指導及び事後指導も含まれるので必要に応じてグループワークやグループ学習も実施し、その都度発生した疑問・質問などにはフィードバックとして解説を行い、実習終了後は報告会を実施する。Microsoft Teams/Forms の諸機能を活用し、意見交換、質問、教材配布等を行う。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<p>「各授業回数における学習内容」に記載の「準備学習」「事後学習」を参照する事。 レポート、課題、その他(実習先の評価、実習日報、事前・事後学習における態度、書類の提出状況、実習報告書等)を基準に則り評価する。 正当な理由なき遅刻や欠席及び保育者の資質に欠けると判断された学生は、実習をとりやめとする。 実習終了後の書類提出の期日を守らない場合は評価(単位認定)しない。 実習全体のまとめと今後の課題を明確にするためのレポート提出1回課す。 なお、詳細(レポート課題・提出方法等)は授業時間に指示する。 実習履修要件として2年次後期の実習進考試験の合格及び次の科目を取得している事を原則とする。 「児童・家庭福祉」「ソーシャルワーク演習」「ソーシャルワークの基礎と専門職」「保育内容演習 - 」等。詳しくは年度初めのオリエンテーション時に説明する。</p>

修学サポート(合理的配慮)
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
資格指定科目
保育士養成課程科目

評価方法・基準

評価前提条件												
通年科目であるが、単位認定に必要な最低出席回数は、前期11回以上及び後期11回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>60%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	10%	0%	10%	60%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	10%	0%	10%	60%							

ルーブリック																																			
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にいるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・技能(何を知っているか、何ができるか)</td> <td>保育の専門的知識について十分理解していた。</td> <td>保育の専門的知識について概ね理解していた。</td> <td>保育の専門的知識について理解していた。</td> <td>保育の専門的知識について多少は理解していた。</td> <td>保育の専門的知識について理解していなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力等(知っていること、できることをどう使うか)</td> <td>保育の基本を踏まえた保育技術の展開について十分に考察できた。</td> <td>保育の基本を踏まえた保育技術の展開について概ね考察できた。</td> <td>保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できた。</td> <td>保育の基本を踏まえた保育技術の展開について多少は考察できた。</td> <td>保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体的に取り組む態度(どのように関わるか)</td> <td>保育実習による総合的な学びを、記録で十分に表すことができた。</td> <td>保育実習による総合的な学びを、記録で概ね表すことができた。</td> <td>保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができた。</td> <td>保育実習による総合的な学びを、記録で多少は表すことができた。</td> <td>保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>パフォーマンス(知識、スキルを使いこなす活用、応用)</td> <td>保育実習による自己評価と課題の明確化に積極的に取り組むことができた。</td> <td>保育実習による自己評価と課題の明確化に概ね取り組むことができた。</td> <td>保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組むことができた。</td> <td>保育実習による自己評価と課題の明確化に多少は取り組むことができた。</td> <td>保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組むことができなかった。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にいるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能(何を知っているか、何ができるか)	保育の専門的知識について十分理解していた。	保育の専門的知識について概ね理解していた。	保育の専門的知識について理解していた。	保育の専門的知識について多少は理解していた。	保育の専門的知識について理解していなかった。	思考力・判断力・表現力等(知っていること、できることをどう使うか)	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について十分に考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について概ね考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について多少は考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できなかった。	主体的に取り組む態度(どのように関わるか)	保育実習による総合的な学びを、記録で十分に表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で概ね表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で多少は表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができなかった。	パフォーマンス(知識、スキルを使いこなす活用、応用)	保育実習による自己評価と課題の明確化に積極的に取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に概ね取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に多少は取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組むことができなかった。
評価項目		評価基準																																	
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にいるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																														
知識・技能(何を知っているか、何ができるか)	保育の専門的知識について十分理解していた。	保育の専門的知識について概ね理解していた。	保育の専門的知識について理解していた。	保育の専門的知識について多少は理解していた。	保育の専門的知識について理解していなかった。																														
思考力・判断力・表現力等(知っていること、できることをどう使うか)	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について十分に考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について概ね考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について多少は考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できなかった。																														
主体的に取り組む態度(どのように関わるか)	保育実習による総合的な学びを、記録で十分に表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で概ね表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で多少は表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができなかった。																														
パフォーマンス(知識、スキルを使いこなす活用、応用)	保育実習による自己評価と課題の明確化に積極的に取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に概ね取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に多少は取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組むことができなかった。																														

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	吉江 幸子(社会福祉学科・教授) 浅 頼佳(社会福祉学科・専任講師)	湯 研究室等所在	1号館2階(吉江)	1号館3階(湯浅)	
単位数	2 (単位認定責任者: 吉江 幸子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 保育士として保育施設での勤務経験があり、その経験を生かして保育実習に向けた指導を行う。			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版』	石橋裕子・林 幸範 編著	同文書院	2020年	9784810314755	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『実習の手引き』					
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション及びシラバスの説明(吉江・湯浅)	保育所実習の目的について考え、教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
2	保育所実習の意義(1)実習の目的(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
3	保育所実習の意義(2)実習の概要(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
4	保育所実習の内容と課題の明確化(1)実習の内容(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
5	保育所実習の内容と課題の明確化(2)実習の課題(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
6	保育所実習に際しての留意事項(1)子どもの人権と最善の利益の考慮(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
7	保育所実習に際しての留意事項(2)プライバシーの保護と守秘義務(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
8	保育所実習に際しての留意事項(3)実習生としての心構え(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
9	保育所実習の計画と記録(1)指導計画の作成(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
10	保育所実習の計画と記録(2)指導計画の実践(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
11	保育所実習の計画と記録(3)指導計画の改善(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
12	保育所実習の計画と記録(4)実習における記録及び評価(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
13	事後指導における実習の総括と課題の明確化(1)保育所実習の総括と自己評価(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
14	事後指導における実習の総括と課題の明確化(2)課題の明確化(吉江)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
15	保育所実習報告会(吉江)	保育所実習報告会の資料を作成する(45分)	保育所実習報告会のまとめと反省を行う(45分)
16	保育所実習のまとめと振り返り(吉江)	保育所実習のまとめと振り返りの準備をする(45分)	施設実習の目的について考える(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17	施設実習のオリエンテーション(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
18	施設実習の意義(1)実習の目的(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
19	施設実習の意義(2)実習の概要(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
20	施設実習の内容と課題の明確化(1)実習の内容(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
21	施設実習の内容と課題の明確化(2)実習の課題(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
22	施設実習に際しての留意事項(1)子どもの人権と最善の利益の考慮(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
23	施設実習に際しての留意事項(2)プライバシーの保護と守秘義務(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
24	施設実習に際しての留意事項(3)実習生としての心構え(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
25	施設実習の計画と記録(1)指導計画の作成(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
26	施設実習の計画と記録(2)指導計画の実践(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
27	施設実習の計画と記録(3)指導計画の改善(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
28	施設実習の計画と記録(4)実習における記録及び評価(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
29	事後指導における実習の総括と課題の明確化(1)保育所実習の総括と自己評価(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
30	事後指導における実習の総括と課題の明確化(2)課題の明確化(湯浅)	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
31	施設実習報告会(湯浅)	施設実習報告会の資料を作成する(45分)	施設実習報告会のまとめと反省を行う(45分)
32	施設実習のまとめと振り返り(湯浅)	施設実習のまとめと振り返りに向けて準備をする(45分)	施設実習について振り返り考察する(45分)

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	講義・演習	必修・選択	選択
科目名称	スクールソーシャルワーク実習指導 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	上原 正希(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 上原 正希)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員の資格を持ち、日本ソーシャルワーカー協会常任理事・北海道ソーシャルワーカー協会会長としての自分自身の経験や体験談をふまえ講義を行う。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標
学校教育法第1条で定める学校のうち原則として18歳未満の児童生徒を対象とした学校、同法で定める学校に関する施設、機関等。地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定める教育委員会等。その他教育基本法及び地方公共団体の条例等によって定められる学校教育に関する施設、機関、組織その他の施設、機関等(以下、「学校現場等」という。)において、学校及び日常での生活を営む上で課題の解決を要する児童生徒とその家庭及びその児童を取り巻く環境、学校・社会・制度等を「講義や演習」を通して学んだことを、スクールソーシャルワーク実習にて必要な視点・知識・スキルなどを体験的に身につけ、理解する。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP2、DP3、DP4、DP5、DP6、DP7、DP9に対応する(2021年度)。

到達目標

1. スクール(学校)ソーシャルワーク実習の意義について理解することができる。
2. 学校現場等を知り、学校組織を演習を通して体験的に理解することができる。
3. スクール(学校)ソーシャルワーク実習にかかわる個別指導並びに集団指導を通して学校における相談援助活動やソーシャルワーク実践にかかわる知識と技術について具体的に実務的に理解し実践的な技術等を修得することができる。
4. 教育の場で生かせる社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等総合的に対応できる能力を養うことができる。
5. 具体的な体験や援助活動を専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を養うことができる。
6. 留意された現場ではなく社会福祉が展開されるべく新しい現場に入るという意味を十分理解し、開拓の視点を養うことができる。

授業全体の内容と概要

- 次に掲げる事項について、演習(個別指導及び集団指導)を行うものとする。
- A. スクール(学校)ソーシャルワーク実習の意義
 - B. 学校、教育委員会、教育センター、適応指導教室など基本的な理解
 - C. 実習先で必要とされる相談援助(子ども、家族、教員対象)に係る知識と技術に関する理解
 - D. 実習先で必要とされるチームで対応する力やケース会議に係る知識と技術に関する理解
 - E. 実習先の市の子ども相談体制について理解
 - F. 現場体験学習(個別面接、ケース会議、連携会議など)、見学実習
 - G. 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務等の理解
 - H. 実習記録ノートへの記録内容及び記録方法に関する理解
 - I. 実習生、実習担当専任教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成
 - J. 巡回指導

授業の方法

1. 授業形態は1講義と演習形式である。
2. 資料を適宜配布し、ポイントとするべきは説明・板書を行う。
3. 適宜質問を促し、対応する。
4. 不測の事態が生じた際の授業や補講等をオンラインやオンデマンドで実施する場合がある。
5. 学校や教育委員会への訪問・講義受講なども実施予定である。

アクティブラーニングの実施方法

<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

1. 必要な資料等は適宜配布する。
2. 3・4年次に相談援助実習指導および相談援助実習を履修済みおよび履修見込みである。
3. 4年次に開講される精神保健福祉援助実習・相談援助実習を履修しない。
4. 将来、教育の分野でスクールソーシャルワーカーとして勤務することを強く願う、意欲のある学生に開講する。
5. スクールソーシャルワーカー等のお話を聞く授業等では、個人情報に触れることもあることから守秘義務の順守が求められる。
6. 自然災害等などの状況により、オンライン授業などの授業に変更になる場合もある。
7. 大学のペーパーレス化に伴い、教科書は必須ですので絶対に購入してください。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

スクール(学校)ソーシャルワーカー資格課程

評価方法・基準

評価前提条件

1. 授業は15回開催する。
2. 最低10回は出席する。
3. その他については、レポート20%・その他は出席および出席度が80%の評価とする。
4. 成績評価分布の目標について「S」は履修者の10%以内とし、「A」と「S」を含めて履修者の40%以内とする。但し、履修者が10人未満の授業科目は、授業形態等を考慮し、成績評価の割合の対象外とする(絶対評価と相対評価を併用する)。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	0%	0%	0%	80%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間に係るレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
実習中の利用者との関わりをSW理論・技法と位置付けて説明でき、理解する。	実習中の利用者とのコミュニケーション場面における成功事例と失敗事例を振り返り、それを具体的に説明でき、且つ、具体的な技法との関連を説明できた。	実習中の利用者とのコミュニケーション場面における成功事例と失敗事例を振り返り、それを具体的に説明でき、且つ、具体的な技法との関連を説明できた。	実習中の利用者とのコミュニケーション場面における成功事例と失敗事例を振り返り、それを具体的に説明でき、且つ、具体的な技法によって説明できた。	実習中の利用者とのコミュニケーション場面における成功事例と失敗事例を振り返り、それを具体的に説明できた。	左記の内容が何一つできなかった。
実習中の他職種・他機関連携をSW理論・技法と位置付けて説明でき、理解する。	実習中の他職種・他機関連携について具体的なSW理論と結び付けて説明でき、且つ、ジェネリックソーシャルワークの視点から普遍的なSW理論に昇華できた。	実習中の他職種・他機関連携を全て説明でき、実習の領域の特性と合わせて説明できた。	実習中の他職種・他機関連携について、どんな職種・機関と連携したかを説明できた。	実習中の他職種・他機関連携について具体的なSW理論と結び付けて説明できた。	左記の内容が何一つできなかった。
実習中の地域連携について説明でき、理解する。	実習中の地域連携について説明でき、その具体的な業務内容をSW理論を用いて説明でき、且つ、地域ネットワーク構築の特徴を考察できた。	実習中の地域連携について説明でき、具体的な業務内容をSW理論を用いて説明できた。	実習中の地域連携について説明でき、その具体的な業務内容をSW理論を用いて説明できた。	実習中の地域連携について説明できた。	左記の内容が何一つできなかった。

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	講義・演習	必修・選択	選択
科目名称	スクールソーシャルワーク実習指導 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	上原 正希(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 上原 正希)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員の資格を持ち、日本ソーシャルワーカー協会常任理事・北海道ソーシャルワーカー協会会長としての自分自身の経験や体験談をふまえて講義を行う。		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『別途指示します。』					
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『入門 スクールソーシャルワーク論』	内田 宏明	ミネルヴァ書房	2022	9784623093373	価格 \ 3,080
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	実習前指導：オリエンテーション・シラバスの説明・前年度実施した授業改善アンケートの結果反映の	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
2	実習前指導：スクールソーシャルワーク実習の理解	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
3	実習前指導：スクールソーシャルワーク実習に必要な事前書類の作成-エントリーシートと誓約書	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
4	実習前指導：スクールソーシャルワーク実習の実習先の理解と必要なソーシャルワークの視点について	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
5	実習後指導：スクールソーシャルワーク実習に必要な事前書類の作成-実習計画書の作成	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
6	実習前指導：スクールソーシャルワーク実習の記録について	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
7	実習前指導：スクールソーシャルワーク実習のケース研究について	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
8	実習前指導：教育の場で生かせる社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等総合的に対応できる能力について	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
9	実習後指導：実習体験を踏まえた振り返り	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
10	実習後指導：実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理、実習におけるスクール(学校)ソーシャルワーク	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
11	実習後指導：スクールソーシャルワーク実習報告書の作成-実習の概要の報告と発表、作成-	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
12	実習後指導：スクールソーシャルワーク実習の報告書の作成-目標と評価、実習の学びだこと-	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
13	実習後指導：スクールソーシャルワーク実習報告会の準備-資料の作成-	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
14	実習後指導：スクールソーシャルワーク実習報告会の準備-資料の作成と発表の準備-	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
15	実習後指導：スクールソーシャルワーク実習報告会授業改善アンケートの実施	指定した資料を事前に読んでおくこと(90分)	ノート整理を行うこと(90分)
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	吉江 幸子(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 吉江 幸子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	保育現場における実習指導の経験を活かし、実習の事前事後指導を行う。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照。				

概要

履修目標

この科目は、以下の5つを授業の目的とする。
 1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。
 2. 実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。
 3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。
 4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。
 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP1、DP3、DP4、DP5、DP6、DP7、DP9に対応する。(2021年度)

到達目標

保育実習による総合的な学び、保育実践力の育成、計画と観察、記録、自己評価、保育士の専門性と職業倫理について理解し、具体的に述べる。

授業全体の内容と概要

保育実習(保育所実習)の履修者に対して指導を行う。保育実習による総合的な学び、保育実践力の育成、計画と観察、記録、自己評価、保育士の専門性と職業倫理について学修する。「SDG4.質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

授業は、板書とパワーポイント、グループ学習を取り入れ、意見を出し合う場を多く設定する。また、模擬保育を取り入れ、お互いを評価しあう時間を設定する。提出されたレポートにはコメントをつけてフィードバックする。Microsoft Teams/Formsの諸機能を活用し、意見交換、質問、教材配布等を行う。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

正当な理由なき遅刻、欠席は実習をとりやめにする。保育者の資格に欠ける者は、実習をとりやめとする。実習終了後の書類提出の期日を守らない場合は評価(単位認定)しない。その他実習全体のまとめと今後の課題を明確にするためレポート提出を1回課す。なお、詳細(レポート課題・提出方法等)は授業時間に指示する。保育実習を選択した場合は、必ず保育実習指導を選択すること。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

保育士養成課程

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は11回以上。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	20%	0%	60%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
実習に関する知識・技能(何を知っているか、何ができるか)	保育実習の総合的な学びの意義について深く理解できた。	保育実習の総合的な学びの意義についておおむね理解できた。	保育実習の総合的な学びの意義について理解できた。	保育実習の総合的な学びの意義について多少理解できた。	保育実習の総合的な学びの意義について理解することができなかった。
保育実習に向けた思考力・判断力・表現力等(知っていること、できることをどう使うか)	保育実習の総合的な学びと実践力について十分に考察できた。	保育実習の総合的な学びと実践力についておおむね考察できた。	保育実習の総合的な学びと実践力について考察できた。	保育実習の総合的な学びと実践力について多少考察できた。	保育実習の総合的な学びと実践力について考察することができなかった。
主体的に取り組む態度(どのように関わるか)	保育実習の意義や実践力を身につけることの重要性をわかりやすく説明できた。	保育実習の意義や実践力を身につけることの重要性をおおむね説明できた。	保育実習の意義や実践力を身につけることの重要性を説明できた。	保育実習の意義や実践力を身につけることの重要性を多少説明できた。	保育実習の意義や実践力を身につけることの重要性を説明することができなかった。
パフォーマンス(知識、スキルを使いこなす活用、応用)	自己を向上させるために学修した内容をまとめ、プレゼンテーションによって具体的に報告できた。	自己を向上させるために学修した内容をまとめ、プレゼンテーションによっておおむね報告できた。	自己を向上させるために学修した内容をまとめ、プレゼンテーションによって報告できた。	自己を向上させるために学修した内容をまとめ、プレゼンテーションによって多少報告できた。	自己を向上させるために学修した内容をまとめ、プレゼンテーションによって報告することができなかった。

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	吉江 幸子(社会福祉学科・教授)	研究室等所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 吉江 幸子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	保育現場における実習指導の経験を活かし、実習の事前事後指導を行う。		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『実習の手引き』					学内テキスト
2	『新訂しりたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド』	石橋裕子・林幸範	同文書院	2020	9784810314755	
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『保育所保育指針<平成29年告示>』	厚生労働省	フレーベル館	2017	9784577814239	
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 オリエンテーション	指定した教科書を事前に読むこと(45分)。	1回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
2	事前指導 保育実習 のふりかえり	保育実習 の記録を読み返しておく(45分)。	2回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
3	事前指導 保育実習 の目的・内容・方法	実習の手引きについて事前学習しておく(45分)。	3回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
4	事前指導 実習課題の設定	保育実習 の課題を省察する(45分)。	授業終了時に示す課題を作成する(45分)。
5	事前指導 指導計画の立案について	2年次履修「保育課程論」を読み返しておく(45分)。	5回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
6	保育実習による総合的な学び(1)子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解	教科書の「実習の準備」を事前学習しておく(45分)。	6回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
7	保育実習による総合的な学び(2)子どもの保育と保護者支援	教科書の「保育実技」を事前学習しておく(45分)。	7回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
8	保育実践力の育成(1)子どもの状態に応じた適切なかわり	教科書の「保育実技」を事前学習しておく(45分)。	8回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
9	保育実践力の育成(2)保育の表現技術を生かした保育実践	教科書の「保育実技」を事前学習する(45分)。	9回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
10	保育実践力の育成(3)未満児・以上児における指導案の作成と事前準備	乳児及び未満児対応について事前学習する(45分)。	10回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
11	計画と観察、記録、自己評価(1)保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践	教科書の「記録」を事前学習しておく(45分)。	11回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
12	計画と観察、記録、自己評価(2)保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善	実習記録用紙書式をよく確認しておく(45分)。	12回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
13	事後指導 保育園における保育士の職務	実習のまとめ・報告準備を進める(45分)。	13回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
14	事後指導 実習報告会の実施	報告会の準備、練習をしておく(45分)。	報告会の自己評価をする(45分)。
15	事後指導 実習の総括と今後への課題	実習で学んだ事、課題を整理しておく(45分)。	授業の目的の達成度を自己評価する(45分)。
16	提出レポート、課題の解説とフィードバック	実習内容を振り返り課題抽出(45分)。	課題の解説に基づき復習し整理する(45分)。

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳(社会福祉学科・専任講師)	研究室等所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。
2. 実習や就職の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。
3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。
4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

授業の位置づけ

社会福祉学科の D P 2、DP 5 に対応する。(2021年度)

到達目標

保育実習による総合的な学び、保育実践力の育成、計画と観察、記録、自己評価、保育士の専門性と職業倫理について理解する。

授業全体の内容と概要

保育実習(施設実習)の履修者に対して指導を行う。保育実習による総合的な学び、保育実践力の育成、計画と観察、記録、自己評価、保育士の専門性と職業倫理について学修する。

授業の方法

授業はパワーポイントや視聴覚教材(DVD・ブルーレイ)も取り入れながら演習形式で行う。実習の事前指導及び事後指導も含まれるので必要に応じてグループワークやグループ学習も実施し、その都度発生した疑問・質問などにはフィードバックとして解説を行い、実習終了後は報告会を実施する。

アクティブラーニングの実施方法

○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		P B L
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

「各授業回数における学習内容」に記載の「準備学習」「事後学習」を参照する事。10回以上の出席がなければ、成績評価の対象としない。正当な理由なき遅刻、欠席は実習をとりやめにする。保育者の資質に欠ける者は、実習をとりやめとする。実習終了後の書類提出の期日を守らない場合は評価(単位認定)しない。保育実習実施後、原稿用紙(400字)約3枚程度のレポート提出を1回課す。その他実習全体のまとめと今後の課題を明確にするため原稿用紙(400字)約4枚程度のレポート提出を1回課す。なお、詳細(レポート課題・提出方法等)は授業時間に指示する。「保育実習指導」は、保育士資格を取得するための必修科目である。「保育実習指導」が「保育実習指導」のいずれかを必ず選択すること。
・不測の事態の際にオンライン授業を実施する場合がある。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、大学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

保育士養成課程

評価方法・基準

評価前提条件

授業回数の3分の2(11回)以上の出席がなければ、成績評価の対象としない。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
10%	10%	20%	10%	10%	40%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能(何を知っているか、何ができるか)	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について十分に理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について概ね理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について多少は理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について理解できなかった。
思考力・判断力・表現力等(知っていること、できることをどう使うか)	児童福祉施設等における保育技術の展開について十分に考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について概ね考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について多少は考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について考察できなかった。
主体的に取り組む態度(どのように関わるか)	施設実習による総合的な学びを、記録で十分に表すことができた。	施設実習による総合的な学びを、記録で概ね表すことができた。	施設実習による総合的な学びを、記録で表すことができた。	施設実習による総合的な学びを、記録で多少表すことができた。	施設実習による総合的な学びを、記録で表すことができなかった。
パフォーマンス(知識、スキルを使いこなす活用、応用)	施設実習において自己評価と課題の明確化に積極的に取り組むことができた。	施設実習において自己評価と課題の明確化に概ね取り組むことができた。	施設実習において自己評価と課題の明確化に取り組むことができた。	施設実習において自己評価と課題の明確化に多少は取り組むことができた。	施設実習において自己評価と課題の明確化に積極的に取り組むことができなかった。

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳 (社会福祉学科・専任講師)		研究室等所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版』	石橋裕子・林幸範	同文書院	2018	9784810314755	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『実習の手引き』					
2	『学内テキスト』					
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	オリエンテーション及びシラバスの説明 授業改善アンケート結果反映の説明	「保育実習」の報告書や日誌などを再読する(4.5分)	シラバスの確認をする。「保育実習」での課題を明確にする(4.5分)
2	事前指導 保育実習 のふりかえり	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
3	事前指導 保育実習 の目的・内容・方法	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
4	事前指導 実習課題の設定	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
5	事前指導 援助計画の立案について	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
6	保育実習による総合的な学び(1)子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
7	保育実習による総合的な学び(2)子どもの保育と保護者支援	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
8	保育実践力の育成(1)子どもの状態に応じた適切なかわり	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
9	保育実践力の育成(2)保育の表現技術を生かした保育実践	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
10	計画と観察、記録、自己評価(1)保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
11	計画と観察、記録、自己評価(2)保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
12	事後指導 児童福祉施設等における保育士の職務	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め報告会の資料を作成する(4.5分)
13	事後指導 実習報告会の実施	報告会のシミュレーションをしておく(4.5分)	報告会について考察する(4.5分)
14	事後指導 実習評価と自己覚知	自己評価表を作成する(4.5分)	実習評価と自己評価について考察する(4.5分)
15	事後指導 実習の総括	「保育実習」のまとめを行う(4.5分)	「保育実習」について考察する(4.5分)
16	保育実習のまとめとふりかえり 授業改善アンケートの実施	「保育実習」をまとめる(4.5分)	「保育実習」についてふりかえりをする(4.5分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			